SONY®

パーソナルコンピューター

VGN-BX4/BX6 シリーズ
取扱説明書

付属マニュアル一覧

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

バイオの画面で見るマニュアル

■ バイオ電子マニュアル

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

➡ バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。

■ 重要なお知らせ

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［重要なお知らせ］の順にクリックする。

➡ バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

■ ヘルプ

各ソフトウェアのヘルプメニューから、それぞれのヘルプを起動する。

➡ 付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

パーソナルコンピューター

VGN-BX4/BX6 シリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

この説明書で使われているイラストについて

この説明書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
この説明書で説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。

この説明書で表記されている名称について

- 搭載モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。たとえば「アナログテレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、アナログテレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- 付属モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。たとえば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」（169ページ）をご覧ください。

目次

セキュリティ

増設／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
セキュリティ
増設／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
注意事項

次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたについては次ページをご覧ください。

電子マニュアルの使いかた

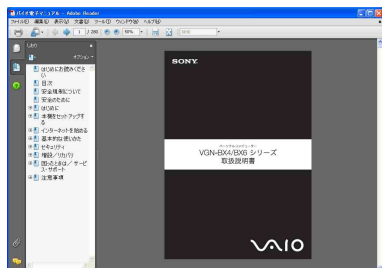
この説明書に記載されている以外のさらに詳しい情報は「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」を見るには、本機の電源が入っている状態で次のように操作します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「Adobe Reader」ソフトウェアが起動し、「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

ヒント
「Adobe Reader」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

2 見たいページを表示する。

しおりをクリックしたり、ページ切り替えボタンをクリックします。
詳しくは、「Adobe Reader」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-9Y1N/9Y2N

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について（オプティカルドライブ搭載モデル）

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧下さい。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人 JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/ より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。
  あらかじめご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

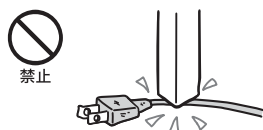
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリを取り付ける／はずす」（102ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク（LAN）ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 1000BASE-Tタイプ、100BASE-TXまたは10BASE-T以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、LANコネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

⚠警告
下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内で使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやポインティング・デバイスなどを使いすぎない

キーボードやポインティング・デバイスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやポインティング・デバイスを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

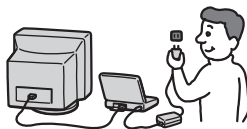
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

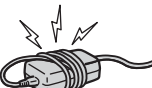
ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

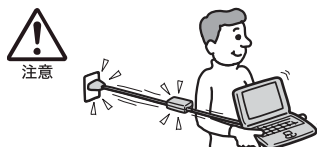
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。
  ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリを使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合の安全性は保証できません。
  – 本機に付属、または指定された別売りのバッテリ以外を使用した。
  – 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

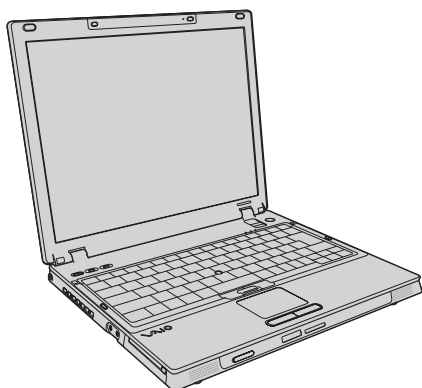
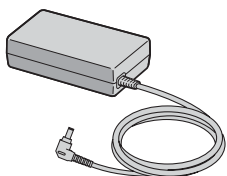
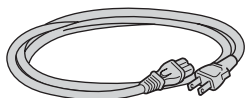
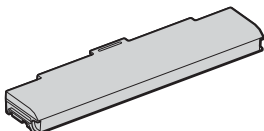
本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

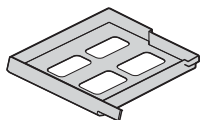
本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

はじめに

付属品を確かめる

- 付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
- お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ **パソコン本体**

❑ **ACアダプタ**

❑ **電源コード（AC100 V用）**

❑ **バッテリ（バッテリーパック（S））**

❑ **ウェイトセーバー**

あらかじめ本機に取り付けられています。

❑ **スティック用予備用キャップ（2）**

使用方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

ヒント

お買い上げ時の選択により、その他にも付属品がある場合があります。

説明書・その他

❑ **取扱説明書**

❑ **保証書**

❑ **VAIOカルテ**

❑ **その他のパンフレット類**

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

❑ Microsoft® Office Personal 2007*1
プレインストールパッケージ
（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2
プレインストールパッケージ
「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Professional 2007*3
プレインストールパッケージ
（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（154ページ）をご覧ください。

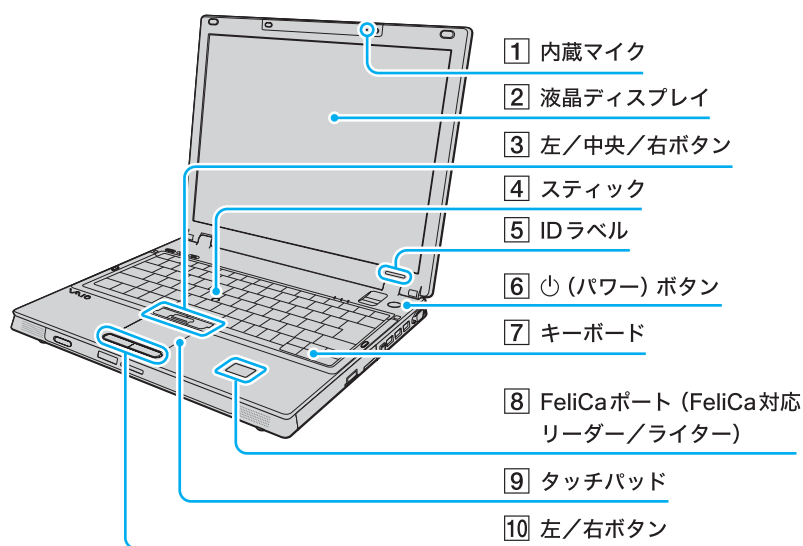
*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（154ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリについて」（106ページ）をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。

本機正面

1 内蔵マイク

2 液晶ディスプレイ

3 左／中央／右ボタン
マウスの左／右ボタンやホイールに相当します。

4 スティック*
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

5 IDラベル
型名が記載されています。

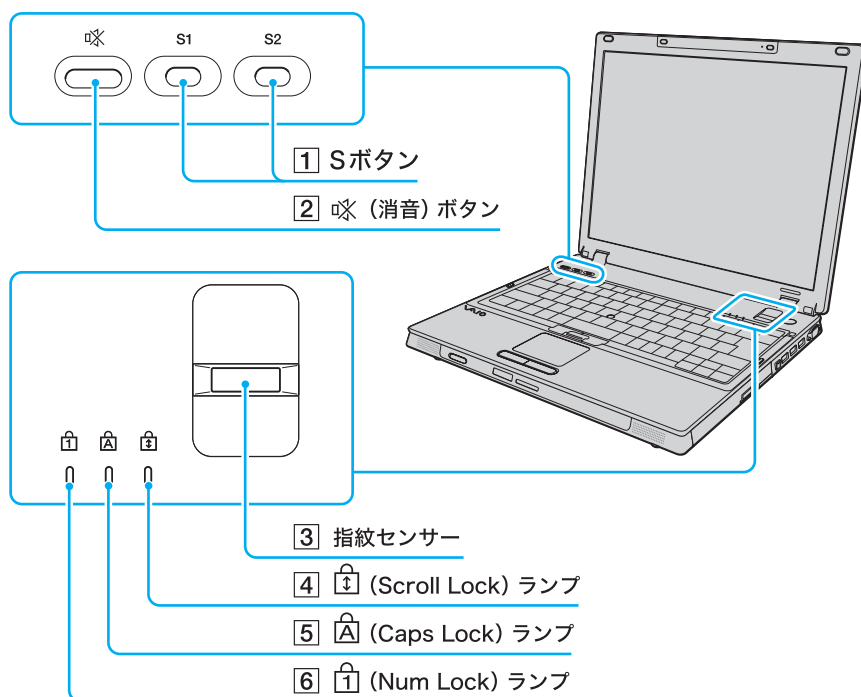
6 ⏻(パワー)ボタン

7 キーボード

8 FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

9 タッチパッド*
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

10 左／右ボタン
マウスの左／右ボタンに相当します。

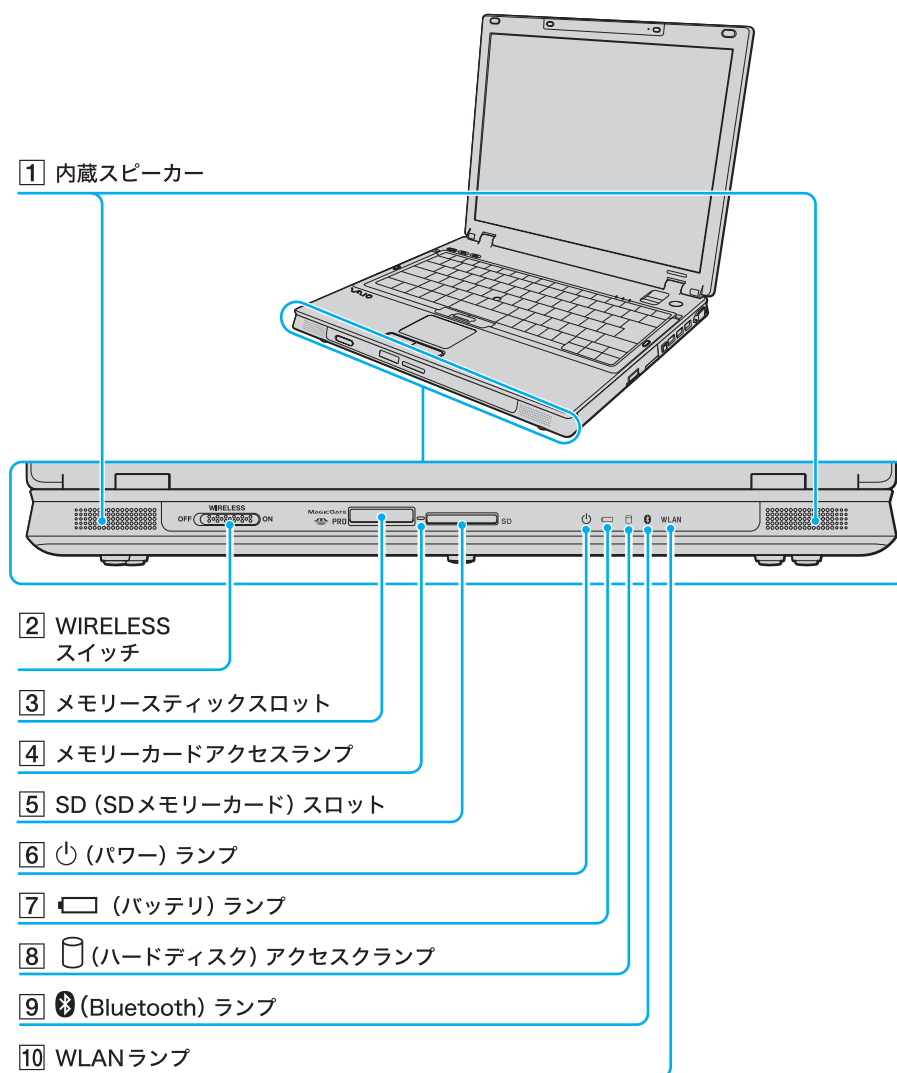
* スティックとタッチパッドを総称して「ポインティング・デバイス」と記載することがあります。

1 Sボタン
お買い上げ時の設定では、S1ボタンを押すと、液晶ディスプレイと外部ディスプレイの画面表示を切り替えます。また、S2ボタンを押すとスタンバイに移行します。
S1ボタン、S2ボタンには他の機能を割り当てることもできます。

2 (消音)ボタン
スピーカーやヘッドホンなどの音声を入/切します。

3 指紋センサー
指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

4 (Scroll Lock)ランプ
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

5 (Caps Lock)ランプ
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

6 (Num Lock)ランプ
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

1 内蔵スピーカー

2 WIRELESSスイッチ

ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン/オフします。

3 メモリースティックスロット

“メモリースティック”を挿入します。
“メモリースティック デュオ”もそのままお使いになれます。

4 メモリーカードアクセスランプ

“メモリースティック”やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

5 SD（SDメモリーカード）スロット

SDメモリーカードを挿入します。

6 (パワー)ランプ

電源が入ると点灯（グリーン）します。
スタンバイモード時には点滅（アンバー（赤褐色））します。

7 (バッテリ)ランプ

バッテリの動作状態をお知らせします。

8 (ハードディスク)アクセスランプ

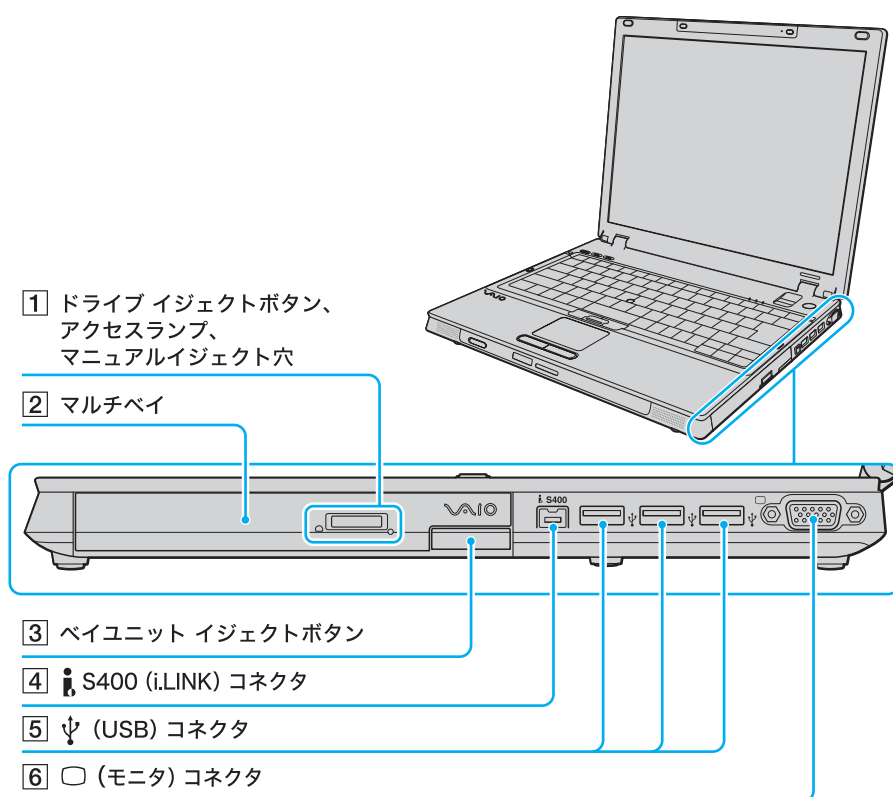
ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

9 (Bluetooth)ランプ

Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

10 WLANランプ

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

本機右側面

1 ドライブ イジェクトボタン、アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴

(オプティカルドライブ搭載モデル)
以降、オプティカルドライブをドライブと略すことがあります。

2 マルチベイ

付属または別売りのベイユニットを取り付けます。

3 ベイユニット イジェクトボタン

ベイユニットやウェイトセーバーを取り出します。

4 S400(i.LINK)コネクタ

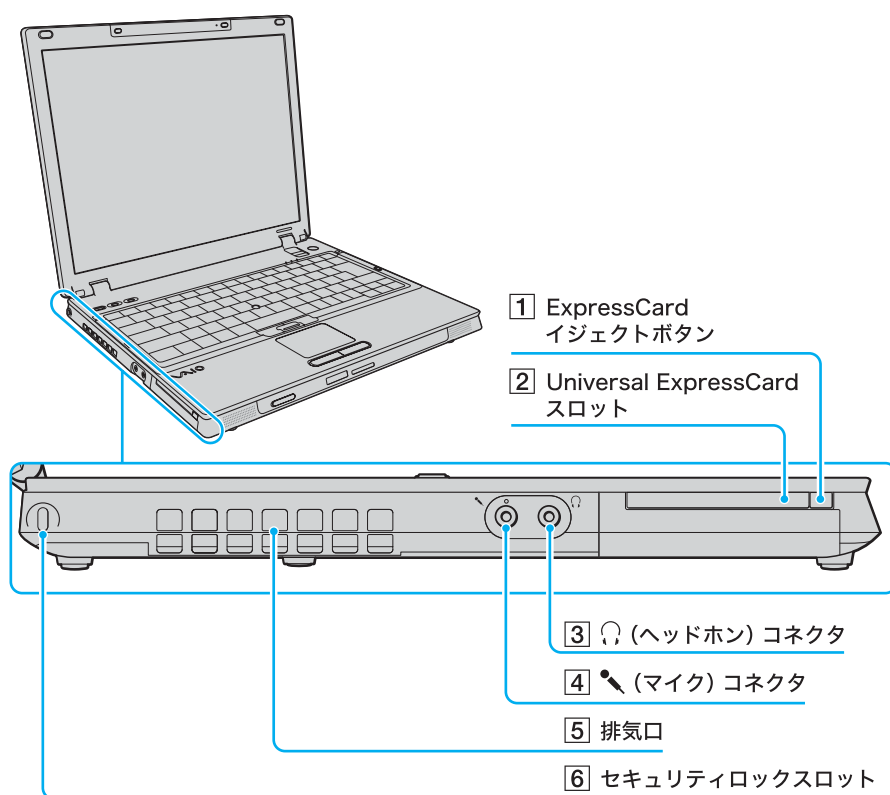
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

5 (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

6 (モニタ)コネクタ

外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

本機左側面

1 **ExpressCardイジェクトボタン**
ExpressCardカードモジュールを取り出します。

2 **Universal ExpressCardスロット**

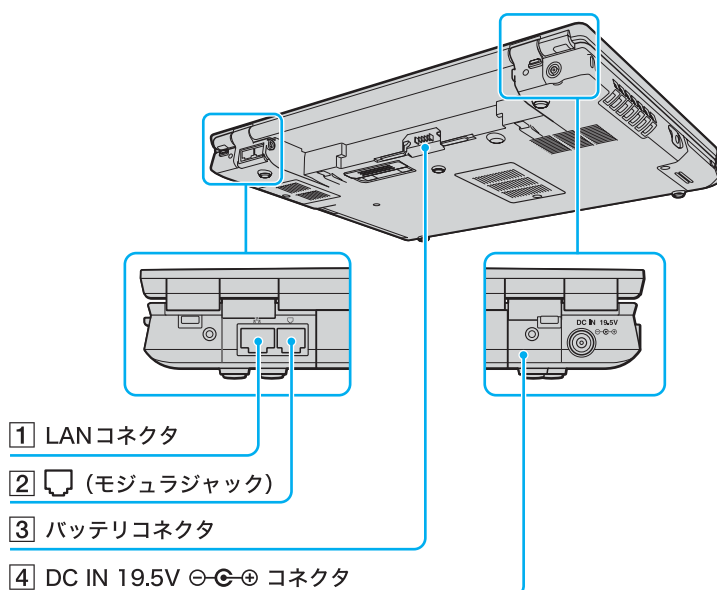
3 **(ヘッドホン)コネクタ**
外部スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

4 **(マイク)コネクタ**
マイクをつなぎます。(ステレオ対応)
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの上部に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

5 **排気口**

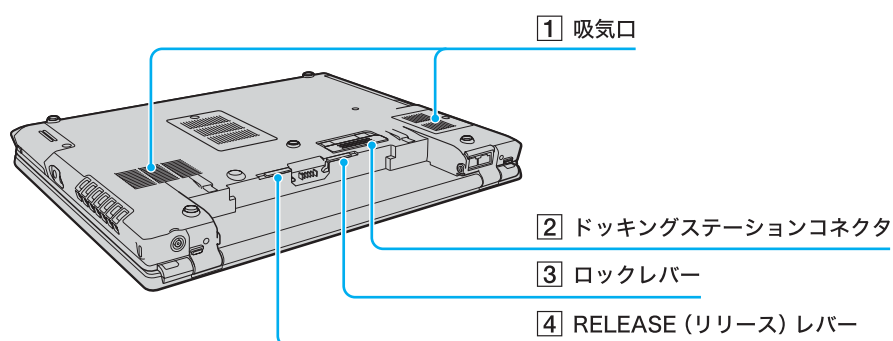
6 **セキュリティロックスロット**
市販のケンジントンロックを取り付けます。

本機後面

1 **LANコネクタ**
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

2 **(モジュラジャック)**
電話回線をつなぎます。

3 **バッテリコネクタ**

4 **DC IN 19.5V ⊖-◐-⊕ コネクタ**
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

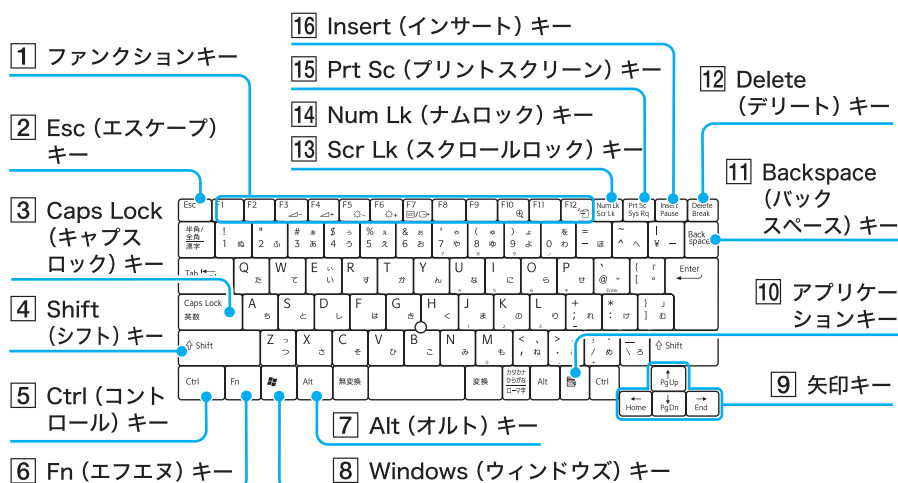
本機底面

1 **吸気口**

2 **ドッキングステーションコネクタ**

3 **ロックレバー**
バッテリをロックします。

4 **RELEASE(リリース)レバー**
バッテリを取りはずします。

キーボード各部の名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

2 Esc（エスケープ）キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 Caps Lock（キャプスロック）キー

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある Ⓐ（Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、Ⓐ（Caps Lock）ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

4 Shift（シフト）キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

5 Ctrl（コントロール）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 Fn（エフエヌ）キー

キーボード上でオレンジ色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 Alt（オルト）キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

8 Windows（ウィンドウズ）キー

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

9 矢印キー

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 アプリケーションキー

タッチパッドやスティックの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 Backspace（バックスペース）キー

カーソルの左側の文字を消します。

12 Delete（デリート）キー

カーソルの右側の文字を消します。

13 Scr Lk（スクロールロック）キー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの右上にある ⇕（Scroll Lock）ランプが点灯します。もう1度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、消灯します。

⇕（Scroll Lock）ランプが点灯しているときに、指紋センサーを使ってスクロールすることができます。

14 Num Lk（ナムロック）キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある ①（Num Lock）ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。

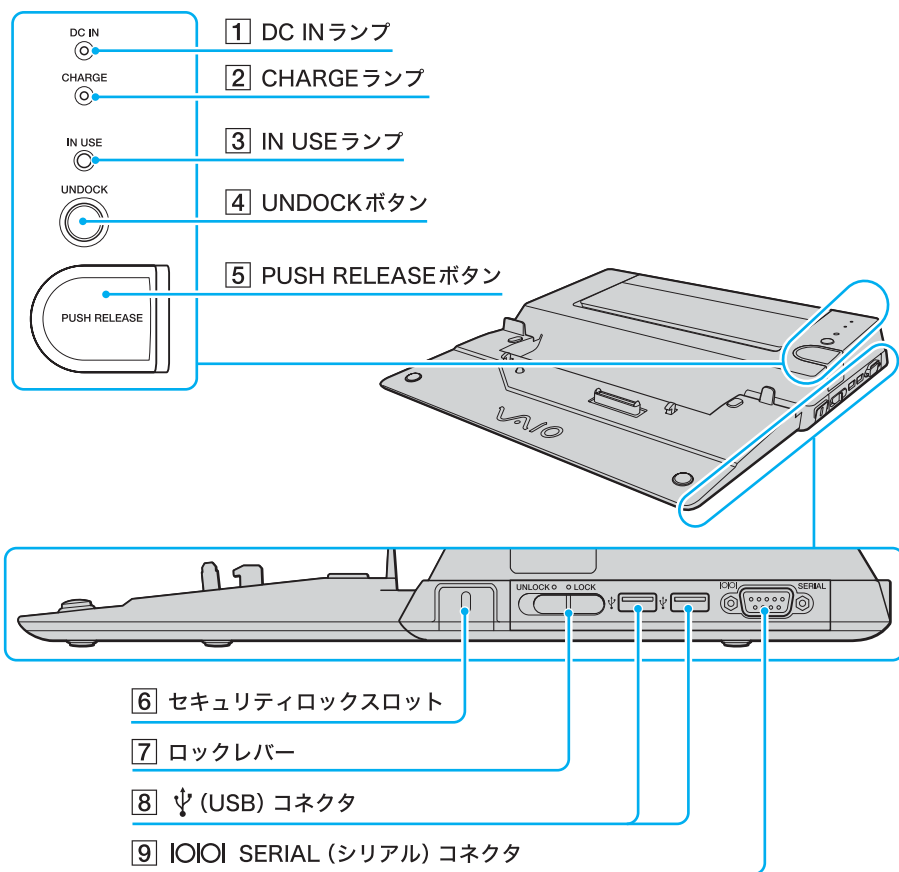
15 Prt Sc（プリントスクリーン）キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

16 Insert（インサート）キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り替えます。

ドッキングステーション各部の名称

別売りのドッキングステーションを取り付けると、より多くの周辺機器を接続することができます。AC電源やプリンタなどを常にドッキングステーションに接続しておけば、毎回接続する手間がはぶけて便利です。

1 DC INランプ
電源につなぐと点灯します。

2 CHARGEランプ
バッテリの動作状態をお知らせします。
- すばやく点滅:バッテリが正しく装着されていないか、本機で使用できないバッテリ
- 2度連続点滅:バッテリ充電中
- 消灯:バッテリ充電済

3 IN USEランプ
ドッキングステーション使用中に点灯します。

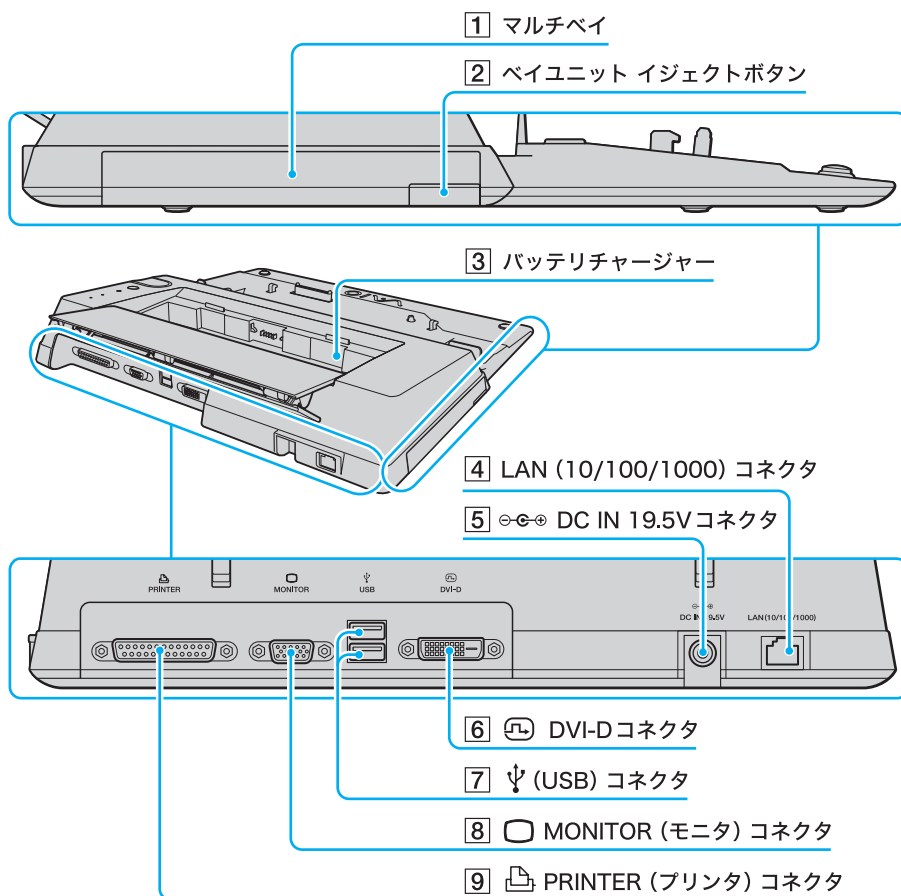
4 UNDOCKボタン
ドッキングステーションを取りはずすときに押します。

5 PUSH RELEASEボタン
ドッキングステーションを取りはずすときに押します。

6 セキュリティロックスロット
市販のケンジントンロックを取り付けると、ロックレバーが固定されます。

7 ロックレバー

8 (USB)コネクタ
USB規格に対応した機器のUSB端子をつなぎます。

9 SERIAL(シリアル)コネクタ
ターミナルアダプタや外部モデムなどをつなぎます。

1 **マルチベイ**
本体に付属または別売りのベイユニットを取り付けます。
お買い上げ時にはあらかじめウェイトセーバーが取り付けられています。

2 **ベイユニット イジェクトボタン**
ベイユニットやウェイトセーバーを取り出します。

3 **バッテリチャージャー**
付属のバッテリや別売りのLバッテリを取り付けて充電しておくことができます。

4 **LAN（10/100/1000）コネクタ**
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

5 **DC IN 19.5Vコネクタ**
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

6 **DVI-Dコネクタ**
DVI-Dコネクタのある外部ディスプレイをつなぎます。

！ご注意
Intel（R）グラフィックス・メディア・アクセラレータ搭載モデルではDVI-Dコネクタは使用できません。

7 **(USB)コネクタ**
USB規格に対応した機器のUSB端子をつなぎます。

8 **MONITOR（モニタ）コネクタ**
外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

9 **PRINTER（プリンタ）コネクタ**
プリンタをつなぎます。

本機をセットアップする

ステップ1：　準備する

ステップ2：　電源を入れる

ステップ3：　Windowsを準備する

ステップ4：　カスタマー登録する

ステップ5：　基本設定を行う

ステップ6：　バイオをはじめる前の準備を行う

ステップ1:

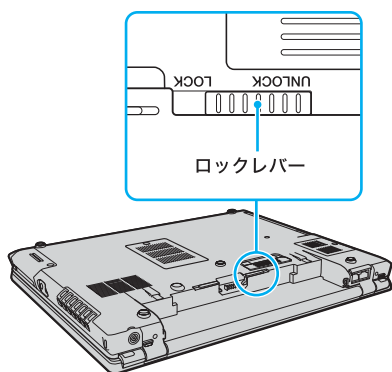
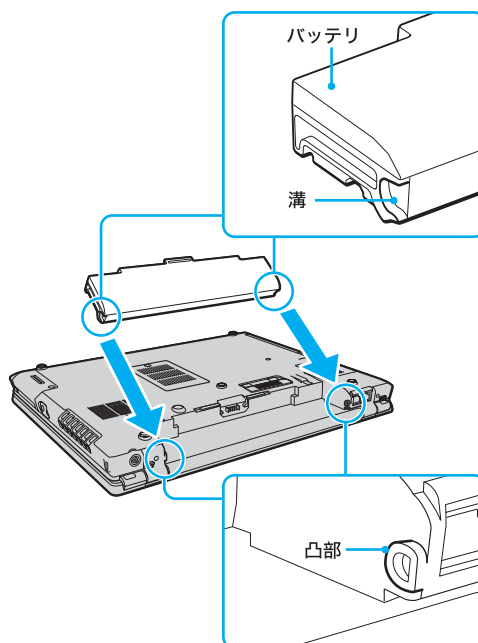
準備する

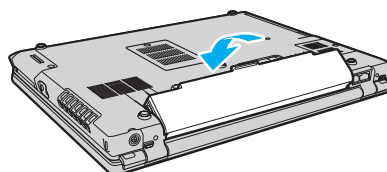
1 バッテリを取り付ける

バッテリの取り付け／取りはずしをする場合は、本機の電源を切り、液晶ディスプレイを閉じてから行ってください。
また、あらかじめ「バッテリについてのご注意」（163ページ）をご覧ください。

本機底面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 本機底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。

3 本機底面のバッテリ取り付け部両端の凸部とバッテリ両端の溝をあわせる。

4 バッテリを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを内側（LOCK側）へずらして、バッテリを固定する。

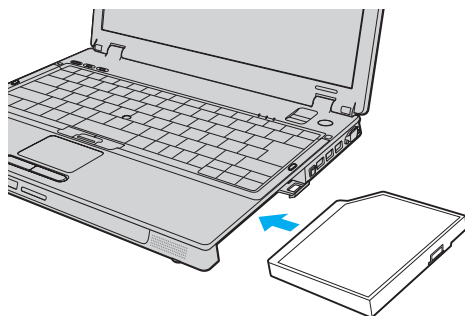
お買い上げ時に選択したベイユニットを交換せずに、別売りのドッキングステーションを取り付ける場合は「3 ドッキングステーションを取り付ける」（34ページ）に進んでください。
ドッキングステーションをお買い上げではなく、またお買い上げ時に選択したベイユニットも交換しない場合は「ステップ2：電源を入れる」（37ページ）に進んでください。

2 ベイユニットを取り付ける

ベイユニットをお買い上げの場合は、次の手順に従ってベイユニットの取り付け／取りはずしを行ってください。

ヒント
マルチベイにあらかじめウェイトセーバーが取り付けられている場合は、ベイユニット イジェクトボタンを押してボタンを出し、下記の「ベイユニットを取りはずすには」の手順5〜7を参考にしてウェイトセーバーを取りはずしてください。

1 マルチベイにHDDドライブやオプティカルドライブなどのベイユニットを取り付ける。

ラベルのある面を上にして、カチッと音がするまでゆっくりと押し込んでください。

❑ ベイユニットを取りはずすには

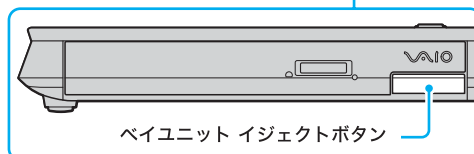
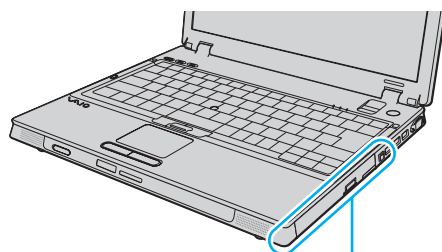
本機の電源が入っている場合は、必ず下記の手順に従ってベイユニットを取りはずしてください。
電源が切れている場合は、下記の手順4以降の操作を行ってください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

2 リストから取り出したいベイユニットを選び、[停止]をクリックする。

3 確認画面が表示されたらデバイスを確認し、[OK]をクリックする。

通知領域に「……は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

4 ベイユニット イジェクトボタンを押してボタンを出す。

5 出てきたボタンをゆっくりと引っ張る。

ベイユニットが飛び出します。

6 飛び出したベイユニットの端を持って、マルチベイからベイユニットを引き抜く。

7 ベイユニット イジェクトボタンを奥までしっかり押し込んで、本機に収納する。

！ご注意
ベイユニットを取りはずしてご使用になる場合は、異物等が入り故障の原因となりますので、付属のウェイトセーバーをマルチベイに取り付けておいてください。

ヒント
ベイユニットは別売りのドッキングステーションに取り付けることもできます。

3 ドッキングステーションを取り付ける

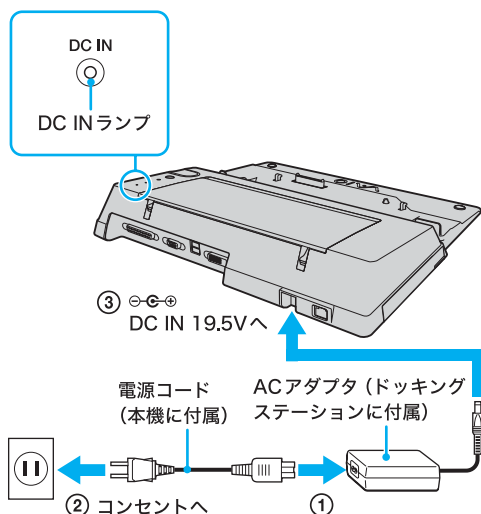
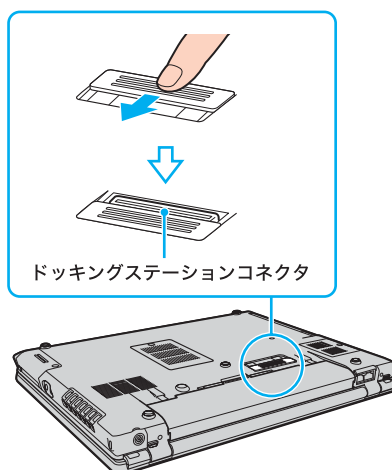
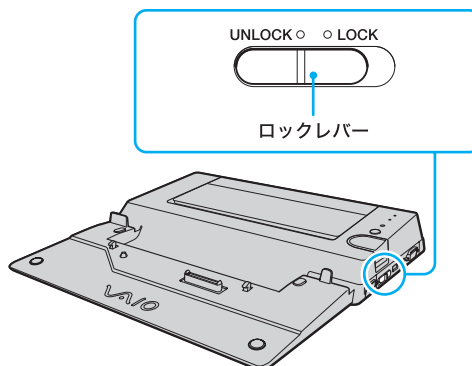
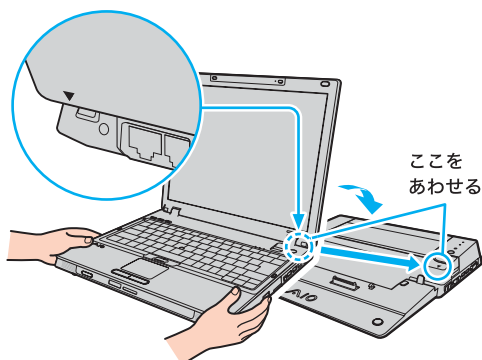
ドッキングステーションをお買い上げの場合は、以下の手順に従ってドッキングステーションの取り付け／取りはずしを行ってください。

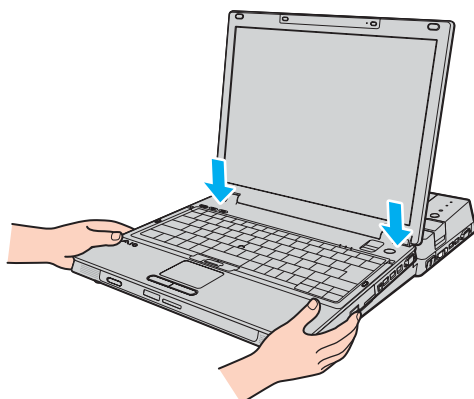
！ご注意

- ドッキングステーションは必ず指定のACアダプタを使って、AC電源に接続してお使いください。本機に付属のACアダプタは接続できません。
- ドッキングステーションを取り付けるときは、必ず本機にバッテリを取り付けてください。
- ドッキングステーションを取り付けた状態で、本機を移動しないでください。移動時にドッキングステーションがはずれ、落下してけがをしたり、本機やドッキングステーションが破損するおそれがあります。

1 本機に接続したすべての機器を取りはずす。

2 ドッキングステーション をAC電源に接続する。

DC INランプが点灯（グリーン）します。

3 本機底面のドッキングステーションコネクタのカバーをずらして開く。

4 ドッキングステーション右側面のロックレバーが「UNLOCK」側にあることを確認する。

5 本機のディスプレイパネルの▲印とドッキングステーションの▼印をあわせる。

6 本機を静かに下げる。

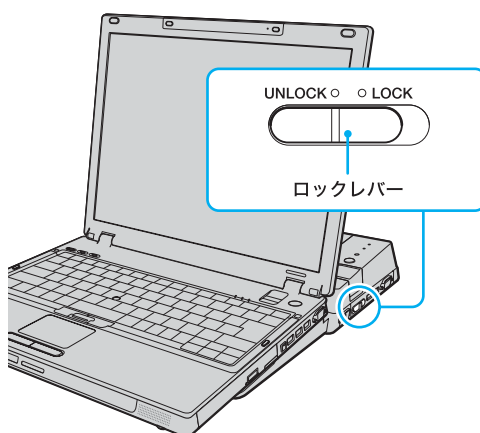
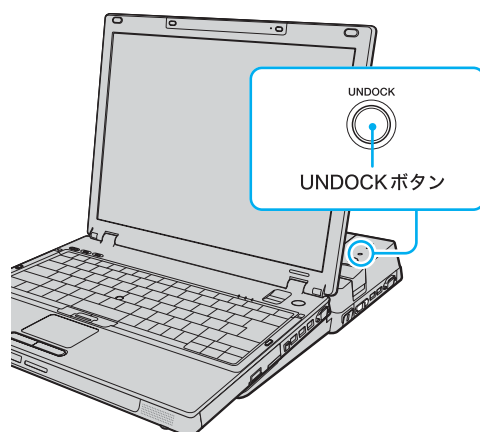
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

7 ドッキングステーション右側面のロックレバーを「LOCK」側にあわせる。

!ご注意
本機をドッキングステーションに無理に押しつけたり、力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。

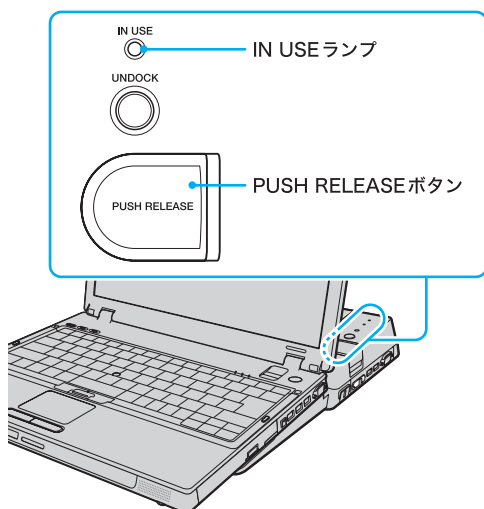
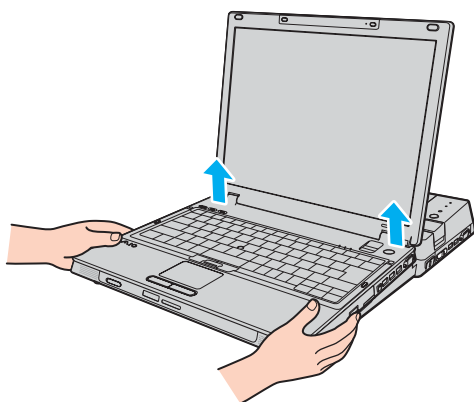
❑ ドッキングステーションを取りはずすには

!ご注意

- ドッキングステーションに内蔵または接続されている機器を使用しているときやバッテリが消耗しているときはドッキングステーションを取りはずさないでください。
  作業中の状態や保存していないデータが失われたり、本機に不具合が生じることがあります。
- ドッキングステーションのIN USEランプが点灯しているときはドッキングステーションを取りはずさないでください。IN USEランプが点灯中に取りはずすと、作業中の状態や保存していないデータが失われたり、本機に不具合が生じることがあります。必ず、下記の手順に従ってIN USE**ランプが消灯したことを確認してから取りはずしてください。**
- 動画再生中にドッキングステーションを取りはずすときは、動画再生ソフトウェアを終了させてから取りはずしてください。
- ドッキングステーションを取りはずすときは、必ず本機の起動時に最初にログオンしたユーザーで行ってください。ユーザーの簡易切り替えを行い、本機の起動時にログオンしたユーザー以外が取りはずすと、本機に不具合が生じることがあります。
  ユーザーの簡易切り替えについて詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- ドッキングステーションの取りはずし処理を行った場合は、必ずドッキングステーションを取りはずしてください。そのまま使うと本機の動作が不安定になる可能性があります。

1 ドッキングステーション右側面のロックレバーを「UNLOCK」側にあわせる。

2 UNDOCKボタンを押す。

ヒント

- ［スタート］メニューの［コンピュータの装着解除］をクリックしても、UNDOCKボタンを押したのと同じ状態になります。
- IN USEランプが消灯している場合は、UNDOCKボタンを押す必要はありません。
- 省電力モード時にUNDOCKボタンを押すと、通常モードに戻ります。
  通常モードに戻った後は必ずドッキングステーションを取りはずしてください。そのまま使うと本機の動作が不安定になる可能性があります。
- 休止状態でUNDOCKボタンを押すと、休止状態から復帰した後パワーオン・パスワードまたは指紋認証を要求される場合があります。パスワードを入力または指紋認証を行ってください。

3 IN USEランプが消灯したことを確認してから、PUSH RELEASEボタンを押す。

4 本機がはずれたら、そのまま本機を上に持ち上げる。

5 本機底面のドッキングステーションコネクタのカバーを閉じる。

ステップ2：
電源を入れる

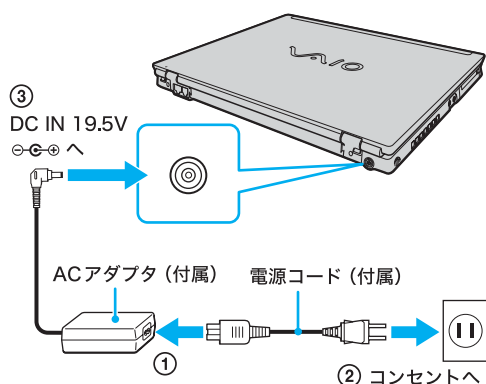
次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

！ご注意
安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリおよびACアダプタをご使用ください。

1 バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
バッテリの取り付けかたについて詳しくは、「バッテリを取り付ける」（32ページ）をご覧ください。

2 AC電源をつなぐ。

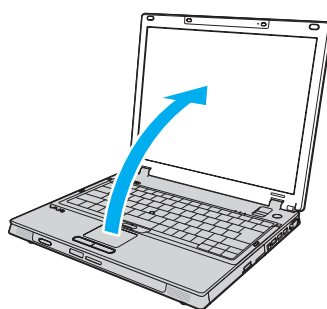
本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

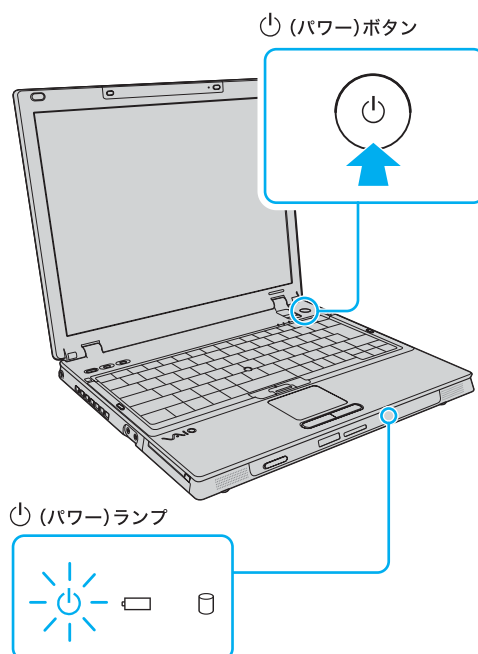
③ ACアダプタのプラグを、本機後面の DC IN 19.5V ⊖-Ⓒ-⊕ コネクタに差し込む。

ヒント
本機に取り付けた別売りのドッキングステーションの ⊖-Ⓒ-⊕ DC IN 19.5Vコネクタに接続することもできます。

！ご注意
別売りのドッキングステーション には、本体に付属のACアダプタはご使用になれません。

3 ディスプレイパネルを開く。

4 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

！ご注意
4秒以上⏻（パワー）ボタンを押したままにすると、電源が入りません。⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

！ご注意
- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本機の液晶ディスプレイ右下部分に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スタンバイまたは休止状態に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(39ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ご注意

- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「セキュリティについて」(59ページ)をご覧ください。

ヒント

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。
  画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

ヒント

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン*を一瞬押してください。

* ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 メニューの[終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 [電源を切る]をクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

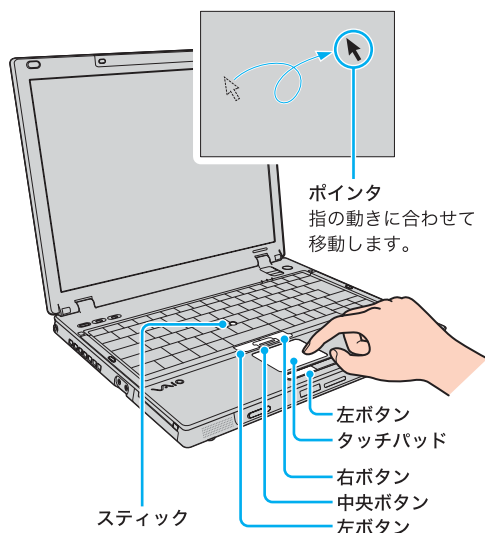
ステップ3:
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント

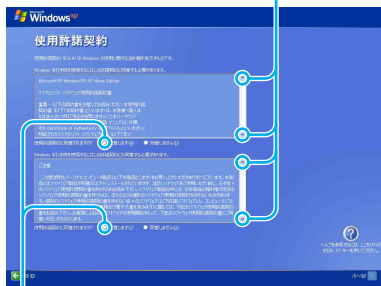
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「準備する」(32ページ)をご覧ください。
- 次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある (次へ)をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かすか、スティックを指で押し、[次へ]の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

!ご注意
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

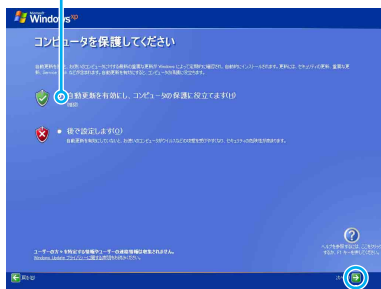
2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の◯をそれぞれクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

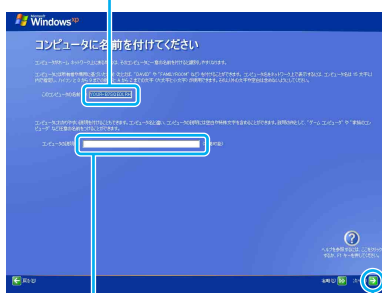
ここをクリックすると、
文章が上下に移動する。

ここをクリックする。
◯が◉になる。

「コンピュータを保護してください」画面が表示されます。

! ご注意

どちらか一方でも[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

3 [自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます]の◯をクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

4 コンピュータ名を変更したい場合は、コンピュータ名を変更し、(次へ)をクリックする。

ヒント

- コンピュータ名の入力は任意ですので、何も入力しなくても問題はありません。
- Windowsのセットアップ完了後に、コンピュータ名やコンピュータの説明を入力／変更することもできます。

ヒント

手順4のあとに次の画面が表示される場合があります。

- **パスワードの入力画面が表示されたときは**
  画面の指示に従ってパスワード入力欄にパスワードを入力し、(次へ)をクリックしてください。
- **ドメインへの参加確認画面が表示されたときは**
  - ご家庭でお使いの場合
    [いいえ、...]の◯をクリックして◉にし、(次へ)をクリックしてください。
  - ご家庭以外でお使いの場合
    コンピュータの管理者にお問い合わせください。

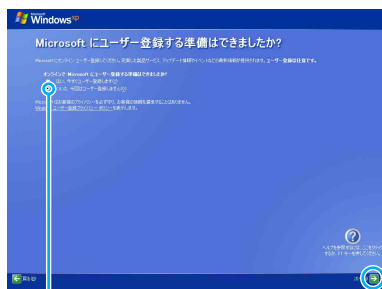
  ドメインとは、企業などで用いられるコンピュータの管理単位のことです。

5 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示された場合は、(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

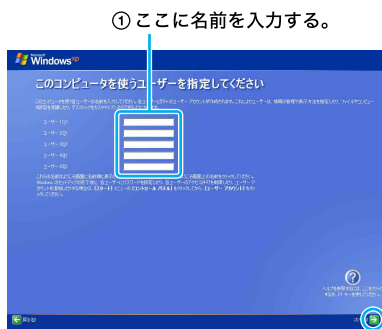
ヒント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いの接続方法の◯をクリックして(次へ)をクリックすると、接続方法によってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。その場合は画面の指示に従って操作してください。
また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。
詳しくは「インターネットを始める」(54ページ)をご覧ください。

6 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

ヒント

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで➡(次へ)をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」(54ページ)をご覧ください。

7 お使いになる方の名前などをユーザー名として入力し、➡(次へ)をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。
「設定が完了しました」画面が表示されます。

ヒント

- ユーザー名の入力には、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット(全角／半角)などを使用できます。
  例：
  - 私のバイオ
  - my VAIO
- 半角/全角キーで文字の入力切替を行います。
- Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。

8 (完了)をクリックする。

ここをクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ヒント
Windowsの起動後、日時があっていない場合は、次の手順で日時をあわせてください。

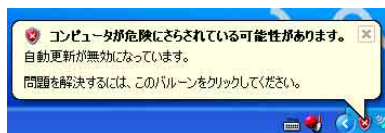
① [スタート]をクリックして、[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(38ページ)をご覧ください。

！ご注意
本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。
また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承下さい。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告について

Windowsのセットアップの完了後に、「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告が表示されることがあります。この警告は、コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続といった危険からコンピュータを守るソフトウェアがインストールまたはセットアップされていなかったり、無効に設定されていたりするときに表示されます。
本機には、コンピュータを危険から守るソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされていますが、初期設定が行われるまでは動作しないため、前述の警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

！ご注意

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット」の章をご覧ください。

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタをあわせ、[Norton Internet Security]をクリックして表示された「Norton Internet Security」画面上部の[続行]をクリックして表示される「Norton Internet Security」設定画面にて行えます。

[続行] をクリックする。

ヒント

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。この画面が表示されたら、画面の指示に従って「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

[次へ]をクリックして、以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

画面の指示に従って操作すると、使用許諾契約や更新サービス有効期間の確認が行われます。
設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

2 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。
画面に表示される指示に従って操作してください。

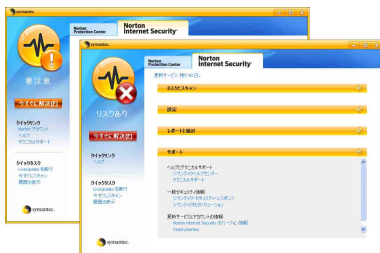
！ご注意
「LiveUpdate」によって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。インターネット接続サービスを提供する会社（インターネットサービスプロバイダ）との契約を行っていないなどの理由でインターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

❏ 「要注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

初期設定時の「LiveUpdate」が終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック SONYユーザ様用サービスページ（ユーザ登録・サポート登録・更新方法） ホームページ：http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

ステップ4:
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様へより充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行(あるいは、お持ちの「My Sony ID」に製品の登録情報を追加)され、下記の登録特典が得られます。
登録はこちら(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)からお願いいたします。

❑ My Sony ID
「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードでお客様ご本人の認証に利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

!ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
- 住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.mysony.sony.co.jp/)で行うことができます。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(144ページ)までご連絡ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

① **セキュリティーや品質などに関する重要な情報をご提供**
お客様のバイオに関する重要な情報をご連絡いたします。

② **ご登録カスタマー専用のサービス・サポートメニューをご用意**
VAIO延長保証などのサービスから、コールバック予約などのサポートまで多彩な専用メニューをご利用いただけます。

③ **優待プログラム「My VAIO Pass」(http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/)(150ページ)をご提供**
ソフトウェアの優待販売や期間限定の特別キャンペーンに加え、ソニーグループ内で広く使えるソニーポイントの連動を強化した優待プログラムをご利用いただけます。

④ **お客様専用のページをご用意**
カスタマー登録の際に発行されるMy Sony IDでログインしていただくと、お客様専用ページをご覧いただけます。

⑤ **電話サポートがよりスムーズに**
ご登録いただいたお客様情報に基づき迅速に対応いたします。

⑥ **バイオに関する最新情報をご提供**
メールニュースなどバイオに関するさまざまな最新情報をお届けします。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Guarantee/
  大切なバイオを安心してお使いいただくためのサービスです。
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Overseas/
  海外で安心してお使いいただくためのサービスです。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」
  http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

❑ ご利用いただけるサポート

お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。

- **「テクニカルWebサポート」**
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/
  バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信いたします。
- **「VAIOコールバック予約サービス」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページから、電話サポートのご予約をしていただけます。
- **「VAIOリモートサービス」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただきます。
- **「VAIO Hot Street（情報交換サイト）」**
  http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
  バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイトをご利用いただけます。

※2007年2月現在

ご利用いただける有料サービスやサポートについて詳しくは、136ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、お客様のバイオから2通りの方法で行うことができます。

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

❏ プログラムから登録

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。**

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 **内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。**

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 **以降、画面の指示に従って登録する。**

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意

- 表示された番号は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は、登録メールアドレスに送信されます。

❑「My VAIO」から登録

1 「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックします。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

ステップ5:
基本設定を行う

パスワードについて

本機では、Windowsパスワード、パワーオン・パスワード(起動時のパスワード)とハードディスク・パスワードを設定することができます。

パスワードを設定する場合は、**設定前に**各パスワードの項目に記載されているご注意を必ずお読みください。

Windowsパスワードについて

Windowsのパスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけがWindowsにアクセスできるようにすることができます。
本機を複数のユーザーで使用するときなどに便利です。
Windowsパスワードの設定については71ページをご覧ください。

!ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント

- パスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを設定したり、パスワードリセットディスクを作成することができます。
  詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- Windowsパスワードは、Windowsログオン画面で入力します。
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(82ページ)

パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用するようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

- マシンパスワード(管理者用)
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- ユーザーパスワード(管理者以外のユーザー用)
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。
  マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順については64ページをご覧ください。

!ご注意

- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  - マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

- パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。
- パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(82ページ)

ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクを不正使用することを防止できます。
ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- マスターパスワード(管理者用)
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- ユーザーパスワード
  ハードディスクにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順については67ページをご覧ください。

!ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスク内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD/DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクのみに有効です。
  外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント

- ハードディスク・パスワード(ユーザーパスワード)は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(82ページ)

ステップ6:

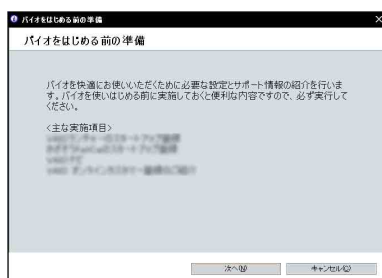
バイオをはじめる前の準備を行う

引き続き、「バイオをはじめる前の準備」で設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［バイオをはじめる前の準備］をクリックする。

「バイオをはじめる前の準備」が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこの後のページをご覧ください。

❑ **インターネットに接続したい。**
→54ページをご覧ください。

❑ **リカバリディスクの作成方法を知りたい。**
→111ページをご覧ください。

Windows Updateについて
より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［Windows Update］の順にクリックする。

インターネットを始める

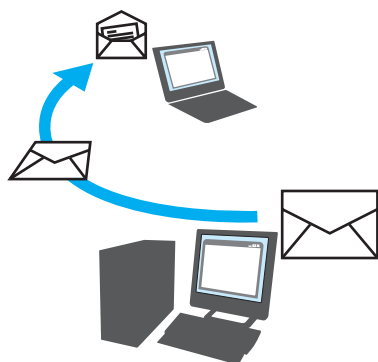
インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

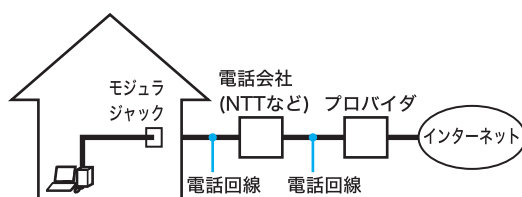
こんなこともできます

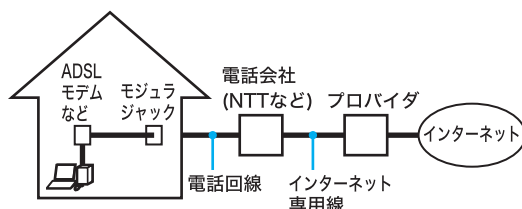
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

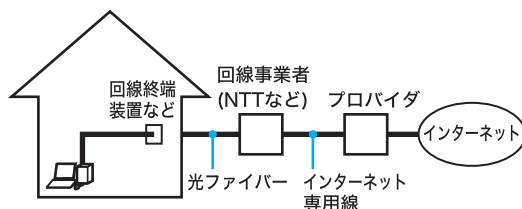
インターネット接続サービスの種類

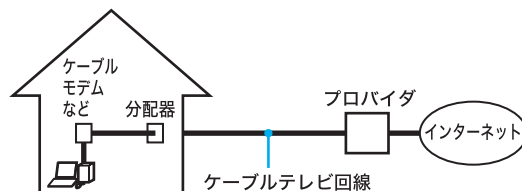
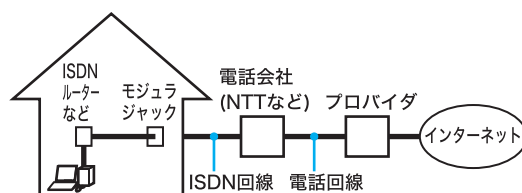
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光（FTTH）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光（FTTH）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光（FTTH）と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光（FTTH）	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○／◎	◎
ISDN	○	△	△

◎：最適　○：適している　△：あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

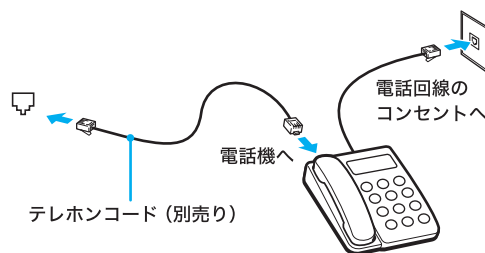
一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSL／FTTH（光）／CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスやISDN回線に接続する方法があります。

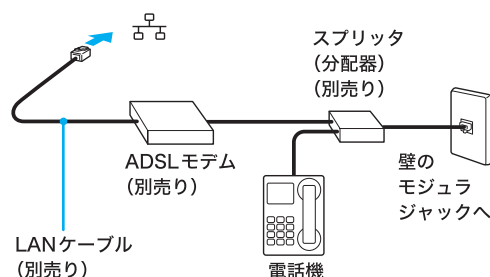
！ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。
本機後面の（モジュラジャック）（26ページ）にモジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意
- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本機後面のLANコネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラジャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

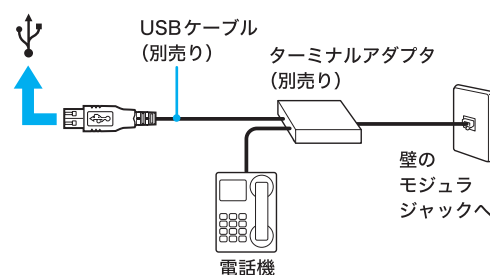
ADSL／FTTH／CATVを利用するときは

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは、本機後面のLANコネクタ（26ページ）に接続します。

*　ADSLの接続例

ヒント
本機に取り付けた別売りのドッキングステーション のLANコネクタに接続することもできます。
設定について詳しくは「LAN Setting Utility」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

！ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の（USB）コネクタ（24ページ）に接続します。

ヒント
- 別売りのドッキングステーションの USBコネクタに接続することもできます。
- 別売りのドッキングステーションの IOIOI SERIALコネクタとターミナルアダプタのSERIALコネクタをつなぐこともできます。

！ご注意
接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

インターネットに接続できないときは…

インターネット接続ができないときは、次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります。（56ページ）

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とテレホンコードやLANケーブルの接続は57ページをご覧ください。

❑「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、インターネットに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。
モデムがダイヤルしないなど、困ったときは「よくあるトラブルと解決方法」の「インターネット接続」や「インターネット閲覧」をご覧ください。

ワイヤレスLANで接続できないときは

ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続することもできます。（ワイヤレスLAN機能搭載モデル）

ワイヤレスLANを使って接続できないときは、次の項目を確認してください。

❑「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、ワイヤレスLANに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。

- ワイヤレス機能を有効にしたいとき、アクセスポイントを有効にしたいとき、ネットワークキーについて知りたいとき、または暗号化について知りたいときは
「ワイヤレスLANで通信する」をご覧ください。
- アクセスポイントが使用できないときは
「よくあるトラブルと解決方法」の「ワイヤレスLAN」の「ワイヤレスLANが使えない。」や「本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）。」をご覧ください。
- 通信速度が遅いときは
「よくあるトラブルと解決方法」の「ワイヤレスLAN」の「ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。」の項目をご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報（電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど）がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られるようになる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書（WordやExcelなど）を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内のほかの文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、44ページをご覧ください。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（39ページ）の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

！ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
Windows XPサービスパック関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号：(0466)30-3016
受付時間：平日　10:00～21:00
　　　　　土・日・祝日　10:00～17:00

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
セキュリティ
増設／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
注意事項

セキュリティ

パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機を起動してVAIOのロゴマークが表示された後に、設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（82ページ）

パワーオン・パスワードを登録する

マシンパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

引き続き、本機を起動したときやBIOSセットアップ画面を表示するときに、パスワードの入力を要求する画面が表示されるように設定を行います。

5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

スペースキーを押して[Disabled]から[Enabled]に変更します。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ユーザーパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワードを変更する／削除する

マシンパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

［Enter Current Password］に現在のパスワードを、［Enter New Password］と［Confirm New Password］に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、［Enter New Password］と［Confirm New Password］には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ユーザーパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」に登録済みのパスワードを入力する。

4 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Set User Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

［Enter Current Password］に現在のパスワードを、［Enter New Password］と［Confirm New Password］に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、［Enter New Password］と［Confirm New Password］には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを設定する

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定します。
設定したパスワードを入力することにより、本機以外のパソコンでハードディスクを不正使用することを防止できます。

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスク内のデータが使用できなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、ハードディスクの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、ハードディスク・パスワードは設定されていません。
「ハードディスク・パスワードについて」（51ページ）をお読みになり、不用意に設定することのないようにしてください。
また、パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（82ページ）

！ご注意
HDDベイユニットに対してハードディスク・パスワードを設定することはできません。

ハードディスク・パスワードを登録する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 ［Enter Master and User Passwords］を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、［Continue］を選択してEnterキーを押してください。

5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意
マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更する

マスターパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 [Change Master Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

[Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk Master Password]と[Confirm New Hard Disk Master Password]に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ユーザーパスワード

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 ［Change User Password］を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

！ご注意
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

［Enter Current Hard Disk User Password］に現在のパスワードを、［Enter New Hard Disk User Password］と［Confirm New Hard Disk User Password］に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを削除する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

5 [Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
設定したパスワードは、ログオン画面でユーザー名を選択したあとに入力します。
Windowsパスワードは、本機を複数のユーザーで使用している場合に便利です。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント

- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（82ページ）
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 「変更するアカウントを選びます」からパスワードを設定するユーザー名をクリックする。

4 ［パスワードを作成する］をクリックする。

5 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 ［パスワードの作成］をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて［はい、個人用にします］または［いいえ］をクリックしてください。

7 ☒ をクリックする。

「コントロール パネル」画面に戻ります。

8 再度、[ユーザー アカウント]をクリックする。

9 [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]をクリックする。

10 [ようこそ画面を使用する]と[ユーザーの簡易切り替えを使用する]がチェックされていることを確認する。

チェックされていないときはクリックしてチェックし、[オプションの適用]をクリックします。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

Windowsパスワードを変更する／削除する

Windowsパスワードを変更するには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 「変更するアカウントを選びます」からパスワードを設定するユーザー名をクリックする。

4 [パスワードを変更する]をクリックする。

5 「現在のパスワードの入力」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除するには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 「変更するアカウントを選びます」からパスワードを設定するユーザー名をクリックする。

4 [パスワードを削除する]をクリックする。

5 現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

指紋認証を使う

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。
また、指紋認証によって、便利な機能を使用することもできます。（76ページ）

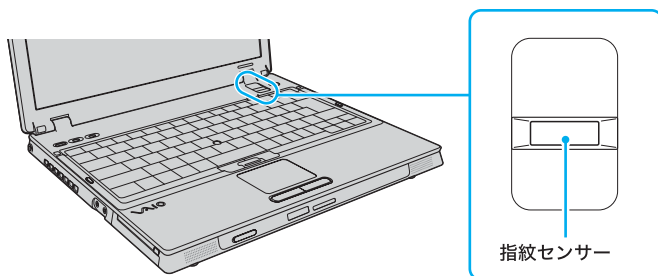
ヒント

指紋の登録については「指紋を登録する」（77ページ）をご覧ください。

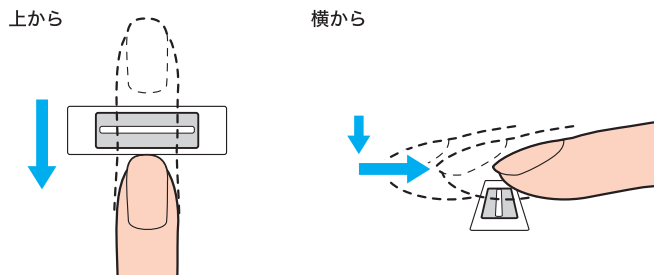
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保障するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証技術は、データやハードウェアの完全な保護を保障するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また、個人差があります。
- 修理などを行った場合、ハードディスクを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などを復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋をスキャンするには

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

1 指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント

- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

2　指を直線状に手前に向かってスライドする。

！ご注意

- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
  1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋認証時のご注意

指の状態について

指の状態が次のような場合は、指紋の認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行うことで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れていたり、指にけが（切り傷など）をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄かったり、しわが多い場合　など

スキャンについて

スキャンを行うときは、次の点にご注意ください。

- 指を指紋センサーの中央に平たく置いてください。
- 指の第一関節より上部をスキャンしてください。
- 指を指紋センサーに垂直な状態でスライドさせてください。
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下したりする場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意
指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。（77ページ）

パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**
  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。（82ページ）

  ヒント
  複数のユーザーで使用している場合でも、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンします。

- **起動セキュリティを使ってシステムにログオンする**
  パワーオン・パスワード（64ページ）やハードディスク・パスワード（67ページ）を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。（82ページ）

ヒント

- これらのパスワード解除は、通常とおりにキーボードから入力することもできます。
- ドメイン登録されているアカウントに自動でログオンすることもできます。

パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。（84ページ）

ヒント

- パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
- アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

My Safeフォルダ

フォルダを暗号化（ロック）して、ファイルを保存することができます。
ロックしたフォルダは、指紋認証を使用してロックを解除することでアクセスすることができるようになります。（88ページ）

ヒント
My Safeフォルダは、容量変更することができます。
My Safeフォルダの最大容量は2 Gバイトです。

アプリケーションランチャー

指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。（92ページ）

指紋を登録する

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の情報量が少ないなどの理由により、指紋の登録ができない場合があります。
- 指紋はひとりに対して10個まで登録できます。
  ただし、起動セキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は、登録の早い順に最大21個までとなります。
  本機を複数のユーザーでお使いになる場合は、登録した順番によって起動セキュリティを使ってシステムにログオンできない指紋が存在する場合があります。

！ご注意
指紋を登録する前に、Windowsパスワードを設定してください。（71ページ）

指紋登録するには

次の手順で指紋の登録を行ってください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Protector Suite QL]の順にポインタをあわせ、[ようこそ]をクリックする。**

「ようこそ」画面が表示されます。

2 **[今すぐ登録]をクリックする。**

ヒント
Windowsのパスワードを設定していない場合は、メッセージが表示されます。
パスワードを設定してください。

① 表示された画面で[OK]をクリックする。

② 「パスワードを今すぐ登録しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

③ パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

3 「ユーザー登録」画面で[次へ]をクリックする。

「パスワード」画面が表示されます。

4 Windowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

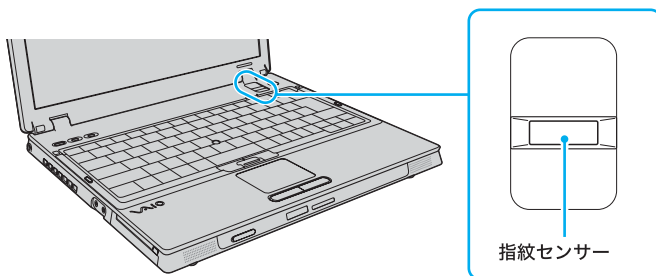
5 [インタラクティブチュートリアルを実行]チェックボックスにチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

「指紋チュートリアル」画面が表示されます。

6 内容をよく確認し、[次へ]をクリックする。

ヒント
この画面には、指紋スキャン時のヒントを表示しています。表示された内容をよくご確認ください。
また、[ビデオ再生]をクリックすると、動画で詳細を表示します。

7 スキャンテストを行う。

スキャンテストは4回行います。
手順6で確認した方法で、指紋センサーに指をスライドさせてください。

スキャンテストを4回行った後に、「失敗」と表示された場合は、[もう一度やり直す]をクリックして、再度スキャンを行ってください。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋認証を使う」(74ページ)でも紹介しています。
- テストは同じ指で行ってください。
- スキャンをやり直したい場合は、[もう一度やり直す]をクリックして再度スキャンを行ってください。

8 [次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

9 登録する指を選択し、指紋を登録する。

① 登録したい指のボタンをクリックする。

② 登録する指の指紋を3回スキャンする。
スキャンを終了すると、「登録」画面に戻ります。

ヒント

- 複数の指を登録する場合は、この手順をくり返して行います。2本以上の指を登録することをおすすめします。
- うまくスキャンできない場合は、マニュアルモードを使用するとスキャンできる場合があります。
[マニュアルモード]をクリックして表示された画面で、[マニュアル登録モードを使う]にチェックを付けて[OK]をクリックします。
マニュアルモードでは、指紋をスキャンするたびにイメージが表示され、そのスキャン画像を登録するか選択することができます。

10 [完了]をクリックする。

以上で指紋の登録は完了です。
本機の次回起動後や休止状態から復帰した場合は、パスワード入力の代わりに、登録した指を指紋センサーにスライドさせて認証を行うことができます。

指紋の追加登録や編集をするには

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある （「Protector Suite QL」アイコン）を右クリックする。

2 表示されたメニューから［指紋を編集］を選択する。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする。

4 ［パスワード確認］を選択してWindowsのパスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

5 「指紋登録するには」の手順5以降の操作を行う。

ヒント
手順4で［指紋を認証］を選択した場合は、［次へ］をクリックしたあとに登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

指紋センサー内の指紋データの消去について

コンピュータを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスク内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で↓キーを押して［Clear Fingerprint Data］を選択してEnterキーを押す。**

本機が再起動して、指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

システムにログオンする

Windowsにログオンするには

指紋が登録されているユーザーのアカウントにログオンする場合、Windowsログオン時のパスワード入力を指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

1 Windowsのログオン画面が表示されたら、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（74ページ）

Windowsにログオンします。

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、登録してある指をスライドするだけで、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンすることができます。

起動セキュリティを使うための設定をするには

パワーオン・パスワードやハードディスク・パスワードの設定を行っている場合は、システム起動時のパスワード入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。
設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード（64ページ）やハードディスク・パスワード（67ページ）を設定しておく必要があります。

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（74ページ）

メニューリストが表示されます。

2 ［設定］を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [起動セキュリティ]タブをクリックする。

！ご注意

パワーオン・パスワードやハードディスク・パスワードを設定していない場合は、このタブは表示されません。

4 [起動セキュリティを有効にする]チェックボックスをチェックしてから、[起動認証後、自動的にログオン]チェックボックスをチェックする。

ヒント

[起動認証後、自動的にログオン]チェックボックスにもチェックをすることで、システム起動時に一度の指紋認証でWindowsログオンまで行うことができるようになります。

[起動セキュリティを有効にする]チェックボックスのみにチェックが入っている場合は、Windowsログオン画面でもう一度パスワード入力（指紋認証）が必要になります。

起動セキュリティを使ってシステムにログオンするには

1 本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、認証画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

パスワードを入力せずに、システムにログオンします。

ヒント

- Escキーを押すと、指紋認証画面がキャンセルされ、通常とおりにキーボードからパスワードを入力することもできます。
- 「起動セキュリティを使うための設定をするには」手順4の設定で、[起動セキュリティを有効にする]チェックボックスのみにチェックが入っている場合は、Windowsログオン画面でもう一度パスワード入力（指紋認証）が必要になります。

！ご注意

起動セキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は、登録の早い順に最大で21個までとなります。

本機を複数のユーザーでお使いになる場合は、登録した順番によって起動セキュリティを使ってシステムにログオンできない指紋が存在する場合があります。

パスワードバンクを利用する

パスワードバンクを設定すると、Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

！ご注意
パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定をしておく必要があります。

パスワードバンクを設定するには

パスワードバンクの設定を行います。

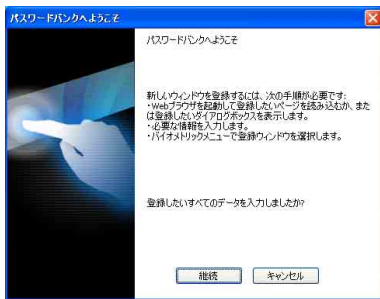
1 パスワードバンクに登録したいアカウントやパスワードの入力画面を表示する。

2 登録したい情報（アカウントやパスワードなど）を入力する。

3 入力画面が選択されている状態で、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（74ページ）

メニューリストが表示されます。

4 ［ウィンドウの登録］を選択する。

5 表示された画面で[継続]をクリックする。

登録が完了すると、タイトルバーにメッセージがバルーン表示されます。

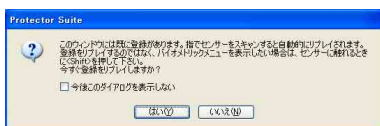
ヒント
登録内容は、メッセージ内の[登録の詳細]をクリックして表示された画面で確認することができます。
また、この画面で登録内容を編集することもできます。

!ご注意
パスワードバンクを利用して、TPMのパスワードを入力または保存することは絶対にしないでください。

パスワードバンクを利用するには

1 パスワードバンク設定済みのウィンドウを表示させる。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

確認画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする。

アカウントやパスワード欄に自動で入力が行われます。

ヒント
「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[はい]や[OK]をクリックしてください。

ヒント
アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンクをエクスポート／インポートするには

パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることができます。

エクスポートするには

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

メニューリストが表示されます。

2 [設定]を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [登録]タブをクリックする。

4 リストからエクスポートしたい登録名を選択して、[エクスポート]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 任意の名前を付けて[保存]をクリックする。

「ファイルパスワードを登録」画面が表示されます。

6 パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

エクスポートが行われます。

7 [OK]をクリックする。

インポートするには

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

メニューリストが表示されます。

2 [設定]を選択する。

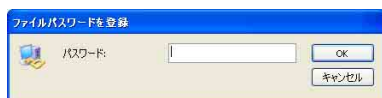
「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [登録]タブをクリックする。

4 [インポート]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

5 エクスポートされたファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「ファイルパスワードを登録」画面が表示されます。

6 エクスポート時に設定したパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

インポートが行われます。

7 [OK]をクリックする。

My Safeフォルダを使う

フォルダを暗号化(ロック)して、ファイルを保存することができます。
ロックしたフォルダは、指紋認証を使用してロックを解除することでアクセスできるようになります。

> My Safeフォルダを使用した場合、修理などに出す前にMy Safeフォルダ内のデータなどは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。修理により、万一データが消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

My Safeフォルダを初期化するには

My Safeフォルダを使用するには、はじめに初期化を行います。

1 My Safeフォルダのアイコンをデスクトップに表示させる。

① 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)
メニューリストが表示されます。

② 表示されたリストから[設定]を選択する。
「Protector Suite QL」画面が表示されます。

③ [My Safe]タブをクリックする。

④ [デスクトップに My Safe アイコンを表示]チェックボックスにチェックをつける。

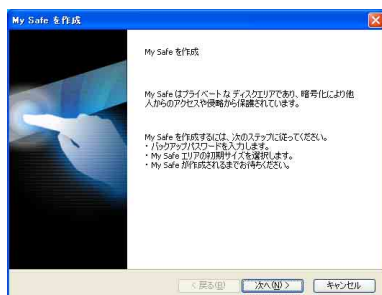
⑤ 「Protector Suite QL」画面を閉じる。

2 デスクトップ画面上の[My Safe]アイコンをダブルクリックする。

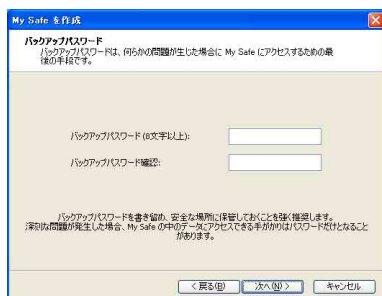
指紋認証の要求画面が表示されます。

3 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

(74ページ)

「My Safe を作成」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

5 バックアップパスワードを2度入力し、[次へ]をクリックする。

ヒント

バックアップパスワードは8文字以上を設定してください。

!ご注意

バックアップパスワードは、指紋センサーが壊れてしまったときなどに使用します。
設定したバックアップパスワードを忘れると、My Safeフォルダに保存されたデータを復元することができなくなります。
バックアップパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

6 My Safeフォルダの容量を指定し、[完了]をクリックする。

My Safeフォルダが作成されます。
作成されると、My Safeフォルダが開きます。

！ご注意
My Safeフォルダの最大容量は2 Gバイトです。

My Safeフォルダを使うには

My Safeフォルダにロックをかけるには

1 デスクトップ画面上の[My Safe]アイコンを右クリックして表示されたメニューから、[My Safeをロック]を選択する。

ロックがかかり、フォルダ内のデータを見ることや外部からのファイルコピーができなくなります。

My Safeフォルダのロックを解除するには

1 デスクトップ画面上の[My Safe]アイコンをダブルクリックするか、右クリックして表示されたメニューから[My Safe をアンロック]を選択する。

指紋認証の要求画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

ロックが解除されます。

！ご注意
ロックをかけ直すか本機を再起動するまでロックは解除されたままになります。

My Safeフォルダの容量を変更するには

次の手順でMy Safeフォルダの容量を変更することができます。

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

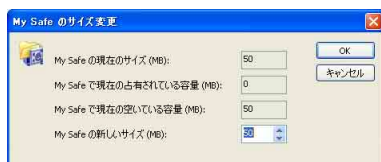
メニューリストが表示されます。

2 表示されたリストから[設定]を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [My Safe]タブをクリックする。

4 [サイズ変更]をクリックする。

「My Safe のサイズ変更」画面が表示されます。

ヒント
My Safeフォルダがアンロックの状態で[サイズ変更]をクリックすると、フォルダをロックする画面が表示されます。その場合は、[OK]をクリックしてください。

5 変更したい値に容量を変更して、[OK]をクリックする。

サイズ変更が終わると、「Protector Suite QL」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

アプリケーションランチャーを利用する

アプリケーションランチャーでは、指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。

アプリケーションを関連付ける

アプリケーションランチャーを使用するには、はじめにすでに指紋センサーに登録している指とアプリケーションの関連付けを行います。

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（74ページ）

メニューリストが表示されます。

2 表示されたリストから[設定]を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [アプリケーション]タブをクリックする。

4 [追加]をクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

！ご注意

- この設定を追加するには、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を2つ以上登録しておく必要があります。
- メニューリストを表示するために、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を最低1つは残しておく必要があります。

5 指紋とアプリケーションを関連付ける。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定してください。

6 [OK]をクリックする。

「Protector Suite QL」画面に戻ります。

7 [OK]をクリックする。

アプリケーションを起動するには

指紋センサーに指をスライドさせることで、その指と関連付けられているアプリケーションが起動します。

ヒント
アプリケーションと関連付けされていない指を指紋センサーにスライドさせた場合は、メニューリストを表示します。

アプリケーションの関連付けを変更するには

次の手順でアプリケーションの関連付けを変更することができます。

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(74ページ)

メニューリストが表示されます。

2 表示されたリストから[設定]を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [アプリケーション]タブをクリックする。

4 変更したい指を選択し、[編集]をクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

5 指紋とアプリケーションの関連付けを変更する。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定し直してください。

6 [OK]をクリックする。

「Protector Suite QL」画面に戻ります。

7 [OK]をクリックする。

アプリケーションの関連付けを解除するには

次の手順でアプリケーションの関連付けを解除することができます。

1 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（74ページ）

メニューリストが表示されます。

2 表示されたリストから[設定]を選択する。

「Protector Suite QL」画面が表示されます。

3 [アプリケーション]タブをクリックする。

4 アプリケーションの関連付けを解除したい指を選択し、[削除]をクリックする。

5 [OK]をクリックする。

TPMとは

TPM(Trusted Platform Module)は、セキュリティチップとも呼ばれ、セキュリティの基本機能を提供するものです。
TPMの機能を使うことで、データの暗号化や復元を行うことが可能になり、セキュリティを強化することができます。

* TPMは、TCG (Trusted Computing Group)により定義されています。

TPM使用時のご注意

TPMに関する設定を行う前にお読みください。

- 本製品は、TPMに関して最新のセキュリティ機能を搭載していますが、データやハードウェアの完全な保護を保障するものではありません。
  TPMを使用されたことによるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- TPMの初期化を行う場合、設定した所有者のパスワードや基本ユーザーパスワードなどは、必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。メモしたパスワードを他人に知られないように管理してください。
  パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータはいかなる手段を用いても復元することはできません。
- TPMの初期化を行う際に保存するシステムバックアップアーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセット用トークン、個人シークレットファイルなどは、お客様において必ずバックアップされますようお願いいたします。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  これらのファイルを紛失した場合、TPMの設定を復元したりパスワードリセットなどの機能が使用できなくなる場合があります。
- ユーザーの初期化を行う場合、初期化ウィザード終了後に、自動バックアップの設定も必ず行ってください。
  また、この設定終了時の画面で、[自動バックアップを今すぐ起動]にチェックをつけ、バックアップファイルを更新するようにしてください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理がきちんと行われない場合があります。
- 修理などに出す場合、TPM内およびハードディスク上のデータなどは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  修理により、万一データが消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理などを行った場合、TPMを交換して返却する場合があります。
- 修理などを行った場合、ハードディスクを初期化して返却する場合があります。その場合は、システムバックアップアーカイブや緊急時復元用トークンを使っても、ハードディスク上のデータを復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- TPMに関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。TPMに関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

TPMご使用時のお願い

①

TPMソフトウェアがインストールされている環境で、プラットフォームの初期化が終わり、ユーザーの初期化の際にEFS機能が選択されている状態において、下記の「基本ユーザーキーその他のフォルダ」内に作成されているファイルをEFSで暗号化してしまうと、TPMソフトウェアが正常に起動しなくなり、暗号化したデータを復号できなくなります。
初期状態においては、下記のフォルダ内のファイルはシステム属性を持たせることにより暗号化されるのを防いでおります。そのため、当該フォルダ内にあるファイルの属性を変更しないようにしてください。

基本ユーザーキーその他のフォルダ

- **C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Infineon¥TPM Software 2.0¥BackupData**
  （Windows のデフォルトでは見えません。）
- **C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Infineon¥TPM Software 2.0¥PlatformKeyData**
  （Windows のデフォルトでは見えません。）
- **C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Infineon¥TPM Software 2.0¥RestoreData**
  （Windows のデフォルトでは見えません。）
- **C:¥Documents and Settings¥<account>¥Application Data¥Infineon¥TPM Software 2.0¥UserKeyData**
  （Windows のデフォルトでは見えません。）

また、同時に以下のフォルダを暗号化してしまうと、ユーザーがログオン不可能になります。そのため、「Documents and Settings」フォルダをまとめて暗号化してしまわないよう、注意が必要です。

C:¥Documents and Settings¥<account>¥Local Settings
（Windows のデフォルトでは見えません。）

②

アーカイブ、バックアップ、トークンファイルを暗号化してしまうと、緊急時に復元ができなくなります。
また、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化してしまうと、パスワードのリセットができなくなります。

以下のファイルを暗号化しないようお願いいたします。

- 自動バックアップファイル
  － デフォルトファイル名：SPSystemBackup.xml
  － デフォルトパス：指定なし（[参照]クリック時に「マイ ドキュメント¥SecurityPlatform」が開きます。）
- 自動バックアップデータ格納フォルダ
  － フォルダ名（固定）：SPSystemBackup（SPSystemBackup.xmlファイルが作成されるフォルダのサブフォルダとして作成されます。）
- 復元用トークン
  － デフォルトファイル名：SPEmRecToken.xml
  － デフォルトパス：リムーバブルメディア（FD、USBメモリなど）
- パスワードリセットトークン
  － デフォルトファイル名：SPPwdResetToken.xml
  － デフォルトパス：リムーバブルメディア（FD、USBメモリなど）
- パスワードリセットシークレットファイル
  － デフォルトファイル名：SPPwdResetSecret.xml
  － デフォルトパス：リムーバブルメディア（FD、USBメモリなど）
- キーと証明書用バックアップ
  － デフォルトファイル名：SpBackupArchive.xml
  － デフォルトパス：指定なし（[参照]クリック時に「マイ ドキュメント¥SecurityPlatform」が開きます。）
- **PSD**バックアップ
  － デフォルトファイル名：SpPSDBackup.fsb
  － デフォルトパス：指定なし（[参照]クリック時に「マイ ドキュメント¥SecurityPlatform」が開きます。）

万一、誤って上記フォルダをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、バックアップ、トークンファイル、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化した場合、当社でデータの復元などはできません。
また、誤って上記フォルダをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、バックアップ、トークンファイル、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化したことによるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

TPMを設定する

TPMを使用するためには、以下の手順を行う必要があります。

① BIOS設定でTPMを有効にする

②「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

③ TPMの初期化・設定を行う

①BIOS設定でTPMを有効にする

BIOSセットアップ画面でTPMを有効にします。
次の手順で行ってください。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されなかった場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[TPM State]を選択し、表示された画面で「Change TPM State」を[Enabled]にする。

4 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

5 本機が再起動した後、「Physical Presence Operations」画面が表示されるので、[Execute]をクリックする。

ヒント

BIOS設定内では、次の設定ができます。

- TPMを有効にする。
- TPMを無効にする。
- TPMの設定をクリアする。

* 設定をクリアした場合、TPMで暗号化されているデータに再びアクセスすることはできません。
この機能を使う場合は、TPMで暗号化されているデータが残っていないかを事前によく確認してください。TPMで暗号化されているデータが残っている場合は、必要に応じてデータのバックアップなどを行ってから、設定をクリアにしてください。

！ご注意

TPMを有効にする場合は、設定を第三者に変更されることのないようパワーオン・パスワードを設定してください。（64ページ）

②「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

「Infineon TPM Professional Package」のインストールは、お客様ご自身で行っていただく必要があります。
「C:¥Infineon¥Readme」のフォルダ内にあるReadme.txtファイルをよくお読みになった後、「C:¥Infineon¥setup.exe」にあるインストーラをダブルクリックしてインストールを行ってください。
なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

！ご注意
「Infineon TPM Professional Package」をインストールする際に、TPMに対するいくつかのパスワードを設定したり、バックアップファイルを保存したりする必要があります。
設定したパスワードを忘れたり、バックアップファイルを紛失したりすると、TPMで保護されたデータを復元することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
また、バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。

③TPMの初期化・設定を行う

「Infineon TPM Professional Package」のインストール後には、TPMの初期化・設定を行う必要があります。
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Infineon Security Platform ソリューション]の順にポインタをあわせ、[入門ガイド]をクリックして表示されるヘルプをご覧いただき、お客様に必要な設定を行うようにしてください。

！ご注意
初期化ウィザード終了後には、次の手順で必ず自動バックアップの設定をするようにしてください。

① デスクトップ画面右下の通知領域にある（TPMアイコン）を右クリックして表示されるメニューから[Security Platform を管理する]を選択する。

② 表示された画面の[バックアップ]タブをクリックして、[設定]をクリックする。

③ 自動バックアップのスケジュールなどを設定する。
また、設定終了時に[自動バックアップを今すぐ起動]チェックボックスが表示された場合はチェックをつけ、バックアップファイルを更新するようにしてください。
これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理がきちんと行われない場合があります。

増設／リカバリ

メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、最大2 Gバイトまで増設することができます。
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。
2か所のスロットに同じ容量のメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。*

＊ デュアルチャンネル転送モード対応モデルのみ。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント

- メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。
- 取り付けるメモリモジュールは、以下のサービスにて提供しています。以下のサービスのご利用にはMy Sony IDもしくはVAIOカスタマーIDが必要となります。
  VAIOカスタマイズサービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/
  本機をお預かりし、ソニーでメモリモジュールを増設したあとに返却するサービスです。

512 MBまたは1 GBメモリモジュール搭載モデルをお買い上げのお客様へ

本機には底面およびキーボード下の2ヵ所にメモリモジュールを取り付けるスロットがありますが、本書および「バイオ電子マニュアル」では、本機底面のスロットを使ったメモリ増設方法のみを記載しています。
メモリを増設する場合は、VAIOカスタマイズサービスをご利用ください。
なお、VAIOカスタマイズサービスでは、ソニー純正メモリのみを取り扱っております。

VAIOカスタマイズサービスお問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
受付時間：平日：10:00～21:00
土曜、日曜、祝日：10:00～17:00
（365日年中無休）
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/

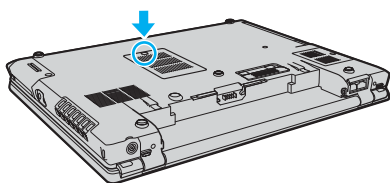
メモリを取り付けるには

！ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジ（矢印のマークが付いている1か所）をプラスドライバーでゆるめると、ふたが浮き上がります。
ふたが浮き上がったところに指をかけて、ふたを開けてください。

！ご注意

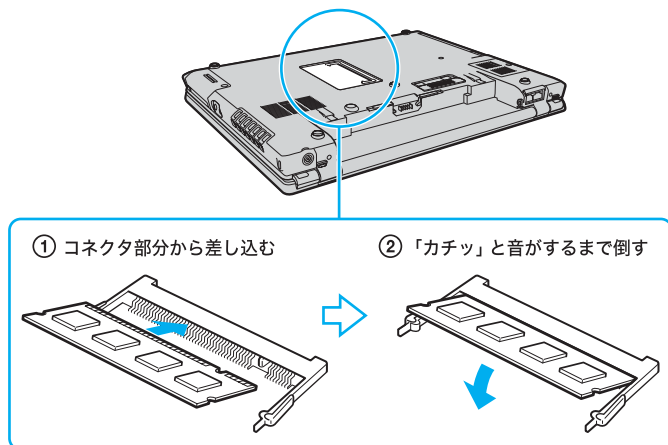
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4　メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。

！ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5　ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6　手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付けて、電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

1　[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

2　[システム情報]→[システム情報]の順にダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3　「システム情報」の「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリを取りはずすには

!ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

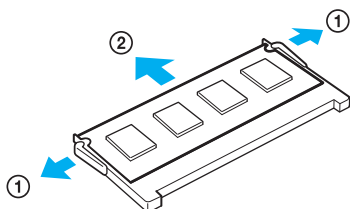
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 「メモリを取り付けるには」の手順2を行う。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。
また、リカバリディスクを作成することもできます。

リカバリ領域とは

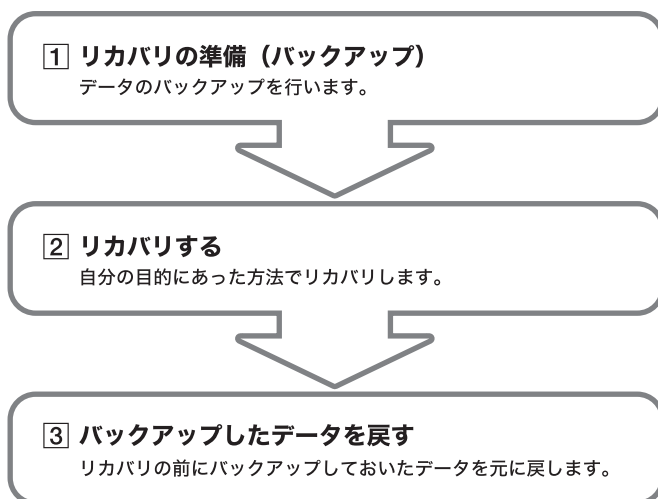
リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

！ご注意

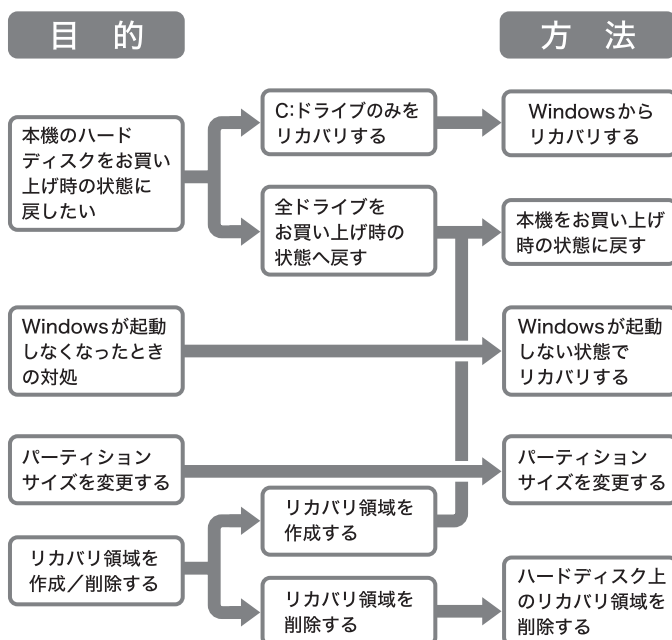
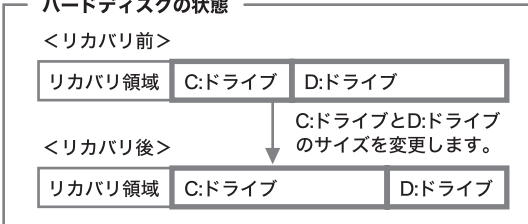
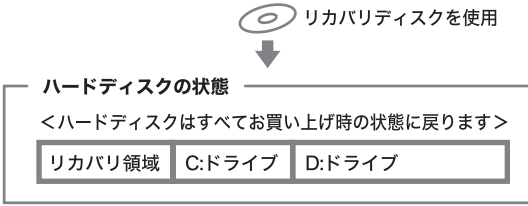
- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（111ページ）

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	Windowsからリカバリ Windowsが起動しない状態でリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。 <リカバリ後> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態にリカバリする	本機をお買い上げ時状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時状態に戻します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 リカバリディスクを使用 ハードディスクの状態 <ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ リカバリ領域が削除されます。 <リカバリ後> C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備(バックアップ)

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」(113ページ)の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。
オプティカルドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD／DVDドライブを用意する必要があります。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。**

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 **[ツール]メニューから[オプション]をクリックする。**

「オプション」画面が表示されます。

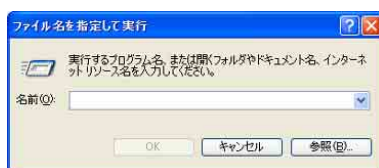
3 **[メンテナンス]タブをクリックして[保存フォルダ]をクリックする。**

「保存場所」画面が表示されます。

4 **「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。**

5 **再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。**

6 **[スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7 **「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。**

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 **表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。**

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

！ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

リカバリ前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。（64ページ）

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1　[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2　[ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3　「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4　[Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5　[参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6　[すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7　[完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」（113ページ）をご覧ください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。（46ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

！ご注意

リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 **[リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。**

3 **「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。**

「ディスクの確認」画面が表示されます。
CD-RW/DVD-ROMドライブ搭載モデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4 使用するディスクを選択する。

ディスクの種類と必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

！ご注意

- CD-Rではリカバリディスクを作成できない機種もあります。その場合はDVDをお使いください。
- Blu-ray Disc、DVD+RW、DVD-RW、DVD-RAMまたはCD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（167ページ）をご覧ください。

5 [次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6 [作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7 指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。
ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

8 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

！ご注意

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

9 [OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

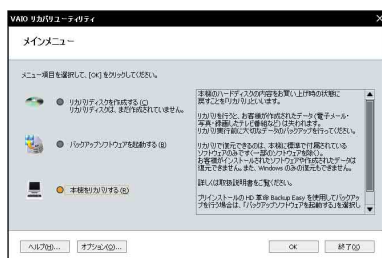
Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(114ページ)をご覧ください。

ヒント
起動セキュリティを有効にしている場合は、無効にしてからリカバリを行ってください。(82ページ)
リカバリが完了後、再度起動セキュリティを設定してください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

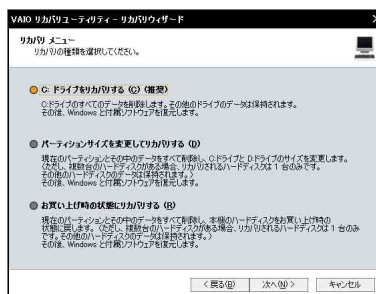
ヒント
「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(115ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

！ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(39ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

11 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。
リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007がプリインストールされていないモデルをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

ヒント
一部のモデルでは、「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されません。その場合は、リカバリは終了しているので、これ以降の手順は不要となります。

12 インストール開始画面が表示されるので、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007をインストールする。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが始まります。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。
Office PowerPoint 2007のインストール開始画面が表示されるので、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記と同じ手順でインストールしてください。

13 インストール開始画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

14 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。(111ページ)

1 ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

！ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。
  何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」をご覧ください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。

3 **内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。**

4 **「Windowsからリカバリする」（113ページ）の手順4以降の操作を行う。**

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。

本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。**

2 **［スタート］ボタン→［終了オプション］の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、［電源を切る］をクリックして本機の電源を切る。**

3 **30秒ほど待ってから ⏻（パワー）ボタンを押して本機の電源を入れる。**

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

！ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。

4 **内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。**

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 **引き続き内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。**

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 **［お買い上げ時の状態にリカバリする］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。**

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 **表示された内容をよく読んでから、［リカバリ開始］をクリックする。**

リカバリ開始確認画面が表示されます。

8 **［はい］をクリックする。**

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で［いいえ］をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で［キャンセル］をクリックします。

9 **表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。**

本機が自動的に再起動します。

10 **表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。**

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

11 **「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。**

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

12 **「Windowsからリカバリする」(113ページ)の手順9以降の操作を行う。**

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。C:ドライブにはWindows OSやプリインストールされているソフトウェアが保存されており、D:ドライブは動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

ヒント

本機のハードディスクのパーティションサイズについて

「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより、現在のパーティションサイズを確認することができます。確認したら、[キャンセル]をクリックしてください。

お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。
本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(118ページ)
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ／D:ドライブともに失われてしまいます。これらの操作は、本機のご使用前に行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルはC:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 「Windowsからリカバリする」（113ページ）の手順1～4を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 ［パーティションサイズを変更してリカバリする］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 ハードディスクの分割のしかたをドロップダウンリストから選択し、［次へ］をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント

「数値入力」を選択すると、指定された範囲のサイズを入力することができます。

！ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合は、バックアップソフトウェアをご使用できなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを小さくした場合は、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。
  データ保存先ドライブの変更については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 表示された内容をよく読んでから、［リカバリ開始］をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリする」（113ページ）の手順7以降の操作を行う。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成する」（111ページ）の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」（115ページ）の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

3 30秒ほど待ってから⏻（パワー）ボタンを押して本機の電源を入れる。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

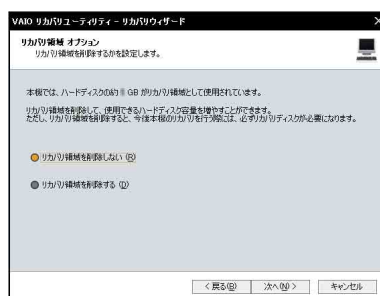
「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域　オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」（113ページ）の手順7以降の操作を行う。

困ったときは／サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 パソコンが起動しないときは『取扱説明書』をご覧ください。

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（124ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。

2 パソコンが動作するときは『電子マニュアル』をご覧ください。

パソコンが動作するときは、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックするとPDFマニュアルを起動することができます。
「バイオ電子マニュアル」が起動したら、「よくあるトラブルと解決方法」内のトラブルの内容にあった項目をご覧ください。

ヒント

ソフトウェアの使い方について

ソフトウェアの使いかたや疑問の解消には、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。また、Windowsに関する使いかたや疑問の解消については、「ヘルプとサポートセンターを見る」（136ページ）をご覧ください。

3 最新の情報は『VAIOカスタマーリンク ホームページ』でご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(136ページ)をご覧ください。

4 いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク *1
(0466)30-3000
(平日:10時～21時、土、日、祝日:10時～17時)

バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。
詳しくは、「電話で問い合わせる」(144ページ)をご覧ください。

本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(154ページ)に掲載されているそれぞれのソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

*1 お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について
ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[ハードウェア診断ツール]の順にポインタをあわせ、[ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、本機のよくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（124ページ）

- 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）がつかないとき）
- 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（▭がすばやく点滅している）
- 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

❑ パスワード（127ページ）

- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

❑ 画面／ディスプレイ（128ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

❑ 文字入力／キーボード（130ページ）

- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

❑ ポインティング・デバイス（131ページ）

- タッチパッドが使えない。
- スティックが使えない。
- ポインティング・デバイスを無効にしたい。
- ポインティング・デバイスに触れただけでクリックしてしまう。
- Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。
- スティックに触れていないのにポインタが動く。

❑ ハードディスク（132ページ）

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクから異音がする。

❑ CD／DVDディスク（133ページ）

- CD／DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

❑ Bluetooth機能（134ページ）

- Bluetooth機能が使えない。

❑ エラーメッセージ（134ページ）

- Enter Onetime Password
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- NTLDR is missing. Press any key to restart.
- Operating system not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタをあわせ、［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 ［困ったときは／サービス・サポート］－［よくあるトラブルと解決方法］の順にクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）がつかないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（32ページ）

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（37ページ）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露（160ページ）が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（▭がすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（32ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。
- S1ボタンを押してください。（お買い上げ時はS1ボタンの機能に「外部出力」が割り当てられています。）

A メモリモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。

サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(160ページ)が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上の[電源を切る]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（32ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（116ページ）

A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、1（Num Lock）ランプやA（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

1)「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2007年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2007＋Enterキーの順で入力します。

2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

⑤「Load default configuration now?」と表示されるので、[Yes]を選択して、Enterキーを押す。

⑥ [Exit Setup]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

パスワード

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
パスワード設定を解除することはできません。修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（82ページ）

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスク内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（82ページ）

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。

確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」からパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが他にいない場合、「Administrator（ユーザー名）」のパスワードを設定していなければ、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator（ユーザー名）」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A LCD/Videoスタンバイになっている場合があります。

ポインティング・デバイスに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。
- S1ボタンを押してください。（お買い上げ時はS1ボタンの機能に「外部出力」が割り当てられています。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スタンバイ）。

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタン* を一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。

* ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押す。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(パワー)ランプが消灯します。⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながら F5キーや F6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。)また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」 に、英字入力モードのときは「A」 になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(27ページ)

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(27ページ)

A キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

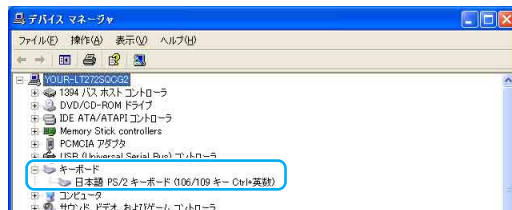
異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。
次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。

③ [システム]アイコンをクリックする。

④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。

ヒント
キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
2) [いいえ、今回は接続しません]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
3) [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

4) ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］をクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

5) ［互換性のあるハードウェアを表示］をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で［（標準キーボード）］が選択されているか確認したあと、「モデル」から［日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）］を選択し、［次へ］をクリックする。

6) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、［はい］をクリックする。

7) 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、［完了］をクリックする。

8) 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、［はい］をクリックして再起動を行う。

ポインティング・デバイス

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

設定を変更してもタッチパッドが有効にならない場合は本機を再起動してください。

Q スティックが使えない。

A スティックが無効になっています。

スティックの設定を変更し、スティックを有効にしてください。

設定を変更してもスティックが有効にならない場合は本機を再起動してください。

Q ポインティング・デバイスを無効にしたい。

A ポインティング・デバイスの設定を変更し、ポインティング・デバイスを無効にしてください。

それでもポインティング・デバイスが無効にならないときは、本機を再起動してください。

Q ポインティング・デバイスに触れただけでクリックしてしまう。

A ポインティング・デバイスの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A ブラウザ補助機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。

③ ［マウス］アイコンをクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

④ ［機能］タブをクリックする。

⑤ ［ブラウザ補助機能を使う］のチェックをはずす。

⑥ ［OK］をクリックする。
設定が有効になります。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切る、または再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q スティックに触れていないのにポインタが動く。

A キーボードの矢印キーなどを押していないことを確認してください。

A 通常の操作状態でスティックを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。

これは「ドリフト」といい、故障ではありません。

しばらくタッチパッドから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- スタンバイから通常モードの状態に戻った直後
- タッチパッドを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したのリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(113ページ)

Q ハードディスクから異音がする。

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタをあわせ、［ディスク デフラグ］をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

ディスククリーンアップについて詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

CD／DVDディスク

Q CD／DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。（167ページ）

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- ディスクの裏表を逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
- ディスクがきちんとドライブに装着されているか確認してください。
- スピンドル（軸）にディスクをはめ込むタイプのドライブでは、スピンドルにしっかりはめ込まれているか確認してください。

！ご注意
本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。
- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

Bluetooth機能

Q Bluetooth機能が使えない。

A **Bluetoothランプが点灯していることを確認してください。**

Bluetoothランプが消灯している場合は、Bluetooth機能が使えません。ワイヤレススイッチを「ON」にあわせ、Bluetoothランプをブルーに点灯させてください。

A **Bluetooth機能が利用できる設定になっているか確認してください。**

デスクトップ画面右下の通知領域にある LAN 、 B LAN または B などの「ワイヤレススイッチ」アイコンをダブルクリックして「ワイヤレス機能の選択」画面を表示し、「Bluetooth機能を利用する」のチェックボックスにチェックが入っているか確認してください。
　アイコンが表示されていないときは、次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［マイ コンピュータ］をクリックする。

② ［ローカル ディスク（C:）］→［Program Files］→［Sony］→［Wireless Switch Setting Utility］→［Switcher］の順にダブルクリックする。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q Enter Onetime Password

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q NTLDR is missing. Press any key to restart.

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q Operating system not found

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」（127ページ）をご覧ください。

Q System Disabled

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」（126ページ）をご覧ください。

Q Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

A **メッセージが表示されても、本機のご使用に関して問題はありません。**

Windowsを終了するときや本機を再起動するときに、「ccApp.exe が応答しません」というメッセージが表示されても、本機の動作には影響はありません。

詳しくは「Norton Internet Security」ソフトウェアの製造元であるシマンテック社で情報が公開されています。

バイオ内の情報を調べる

本機には、「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（120ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」を起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックします。

ヘルプとサポートセンターを見る

❑ ヘルプとサポートセンターを見るには

[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックすると「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

ヒント

ヘルプとは
ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、サービス・サポート体制についての最新情報を提供しております。定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

！ご注意
本マニュアル内の「サービス・サポート」の内容は、2007年2月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 **[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]の順にクリックする。**

2 **画面上部の[お気に入り]をクリックして[2.VAIOサポートページ]→[1サポート（サービス・サポート情報）]の順にクリックする。**

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

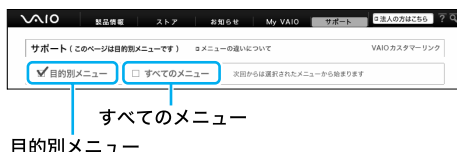
❑「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 デスクトップ画面の[VAIOナビ]アイコンをダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでは、お客様がお好きな方法で必要な情報や解決策を入手できるよう、「目的別メニュー」と「すべてのメニュー」の2つの入り口をご用意しています。

* 次回からは選択されたメニューで始まります。

目的別メニュー

「目的別メニュー」は4つの大きなメニューで、お客様を目的のサポートメニューへご案内します。
困ったときに、どのメニューから探していいのかわからない方、パソコン初心者の方などにおすすめです。

（2007年2月現在）

❑ 困ったときに押すボタン

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/guide/
トラブル解決をしたい、アップデートプログラムをダウンロードしたいなど、困ったときの9つの対処方法をご案内しています。

❑ 初心者の方から多い質問

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/hotissue/
初心者の方からのお問い合わせの内容をわかりやすくご紹介している「初心者コーナー」へご案内しています。

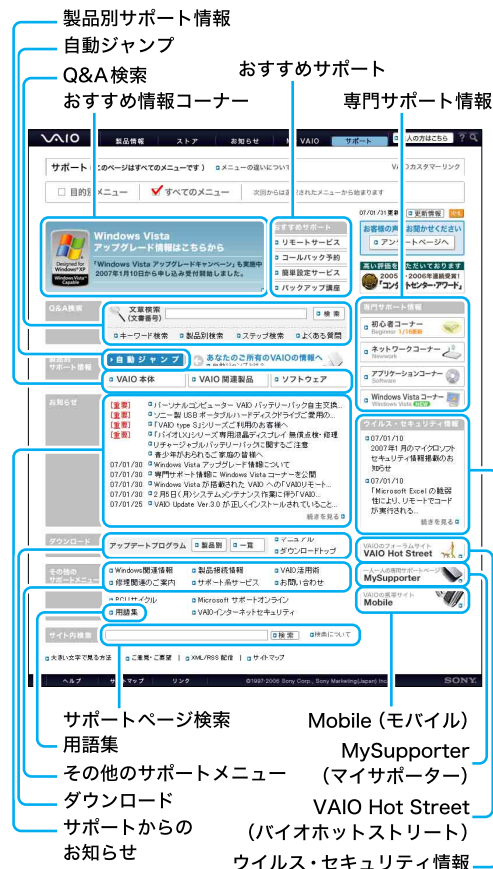
❑ 電話で相談する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/telephone/
電話でのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。

❑ メールで相談する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/beginner/mail/
メールでのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。
メールでお問い合わせをなさる場合は、こちらからご利用ください。

すべてのメニュー

「すべてのメニュー」はサポートに関するすべてのメニューをわかりやすいように整理しています。
使いたいメニューにダイレクトにいきたい方におすすめです。

（2007年2月現在）

❑ 製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/pc/

機種ごとに、専用のサポート情報ページをご用意しています。

ご所有の機種に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご利用いただけます。

詳しくは、「製品別サポート情報」(139ページ)をご覧ください。

❑ 自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

❑ Q&A検索

http://search.vaio.sony.co.jp/cb/

Q&A検索では、文章などを入力してQ&A(VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答)を検索することができます。

そのほか複数の検索方法(キーワード検索、製品別検索、ステップ検索、よくある質問)をご用意しています。

❑ おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

❑ おすすめサポート

VAIOカスタマーリンクで特におすすめのサポートやコンテンツをご紹介しています。

リモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内するサービスです。

詳しくは、「VAIOリモートサービス」(141ページ)をご覧ください。

コールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げるサービスです。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(140ページ)をご覧ください。

バックアップ講座

http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法とその復元方法についてわかりやすく解説しています。

❑ 専門サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/

VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携し、専門分野に特化したサポート情報をご提供するコーナーです。

「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」、「Windows Vista」の4つのコーナーをご用意しています。

詳しくは、「専門サポート情報」(139ページ)をご覧ください。

❑ サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンク ホームページのサイト内検索ができます(お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます)。

❑ 用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

調べかた

頭文字から探す

①調べたい用語の頭文字をクリックする。

②右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

❑ その他のサポートメニュー

「修理関連のご案内」や「Windows関連情報」「製品接続情報」など、さまざまなサービスサポート情報を掲載しております。

❑ ダウンロード

http://vcl.vaio.sony.co.jp/download/

お客様のVAIOを最新の状態にするアップデートプログラムなど、最新のダウンロード情報を掲載しています。

また、取扱説明書などのご提供も行っています。

❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています(すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます)。

❑ Mobile(モバイル)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

携帯電話用サポートサイトです。

ウイルス、セキュリティ情報など最新サポート情報や修理見積、修理状況のご案内などを掲載しております。

詳しくは、「携帯電話サポート」(143ページ)をご覧ください。

❑ MySupporter(マイサポーター)

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

❑ VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。

バイオを活用するための情報などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」(143ページ)をご覧ください。

❑ ウイルス･セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします。

代表的なサポートメニュー

VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/pc/

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページを活用する」(137ページ)をご覧ください。

専門サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、専門分野に特化したサポート情報をご提供するコーナーです。

「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」などのコーナーをご用意しています。

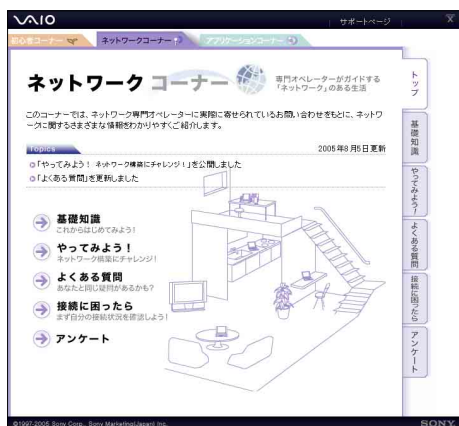
専門サポート情報

VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」からアクセスします。詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページを活用する」(137ページ)をご覧ください。

初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

ネットワークコーナー
http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/
ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー
http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

VAIOコールバック予約サービス

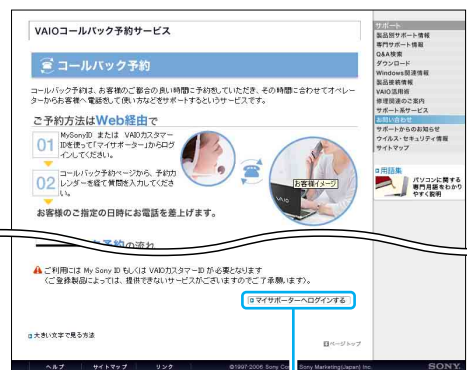
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/
ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

ヒント
VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です（コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日10：00 ～ 17：00

本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

！ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

1 「VAIOコールバック予約サービス」説明ページにアクセスし、「マイサポーターにログインする」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページを活用する」（137ページ）をご覧ください。

2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

ここをクリックする

IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDがご利用いただけます。

3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

4 画面に従って操作する。

ヒント

「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

ここをクリックする

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。

難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

！ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（140ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（140ページ）をご覧ください。

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

3 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIOリモートサービス」のページにアクセスする。

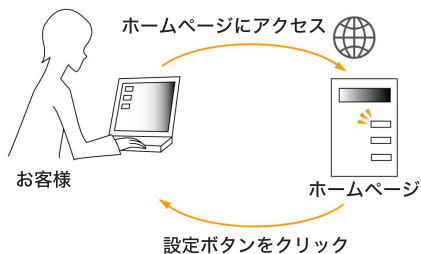
4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

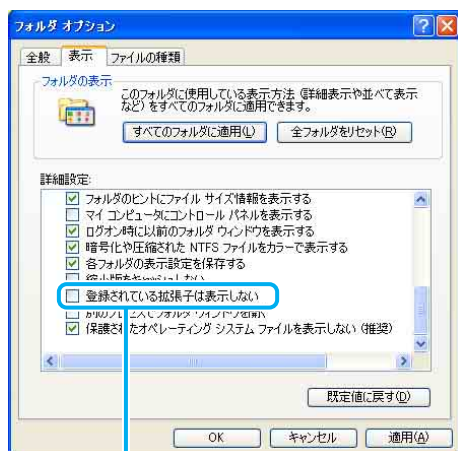
VAIO簡単設定サービス

複雑な設定変更もホームページ上の設定ボタンをクリックするだけでOK！
変更手順を表示しながら、設定変更を行い、お客様を問題解決までナビゲートします。

1 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIO簡単設定サービス」のページにアクセスします。

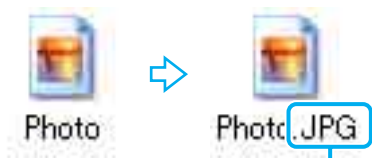
2 設定したい項目の[簡単設定をはじめる]ボタンをクリックします。

ここでは、例として「ファイルの拡張子を表示する」設定を実行します。

3 「VAIO簡単設定サービス」のモジュールが自動的にダウンロードされ、設定の準備が行われます。

4 [続ける]ボタンをクリックして設定を開始すると、変更手順を表示しながら自動的に設定変更が実行されます。

自動的にチェックがはずれる

5 「VAIO簡単設定サービス」が完了すると、お客様のバイオの設定が変更されています。

この例では、ファイルの拡張子が表示されるようになりました。

ファイルの拡張子が表示されている

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- 本サービスをご利用の際は、ほかのアプリケーションをすべて終了させてください。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

!ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話サポート

VAIOカスタマーリンクモバイル

「VAIOカスタマーリンクモバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。
「ウイルス・セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関する修理見積や修理進捗状況などをご確認いただけます。

「VAIOカスタマーリンクモバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
(対応端末:i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ)

また、バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンクモバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜日　10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

http://www.vaio.sony.co.jp/regist

！ご注意

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

電話でのサポートをご利用の前に

❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」（136ページ）や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（137ページ）では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

❑「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「電話で相談する」（目的別メニュー）または「お問い合わせ」（すべてのメニュー）の中の[電話で相談]を選択し、電話サポートにある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況]をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日：12：00 ～ 18：00
土曜、日曜、祝日：15：00 ～ 17：00
（2007年2月現在）

❑ **お電話の前に以下の内容をご用意ください。**

① 本機の型名(保証書などに記載されているものです)

② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
(発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。)

④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

❑ **お電話でのお問い合わせについて**

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)をご覧ください。

お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000
受付時間 平日: 10:00 〜 21:00
土曜、日曜、祝日: 10:00 〜17:00
(365日年中無休)
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

!ご注意
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIOコールバック予約サービス**
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(140ページ)をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
詳しくは、「VAIOリモートサービス」(141ページ)をご覧ください。

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(154ページ)をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクセキュリティお問い合わせ窓口は
電話番号:(0466)30- 3016
受付時間:平日　10:00 〜21:00
土曜、日曜、祝日　10:00 〜17:00

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（46ページ）をご覧ください。

「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

ここをクリックする

VAIOカスタマーリンクホームページの「目的別メニュー」または「すべてのメニュー」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（136ページ）をご覧ください。

2 ［テクニカルWEBサポートメールで相談］をクリックする。

ここをクリックする

3 ［新規のお問い合わせ］をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（136ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。
  修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

修理依頼の手順

VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。
修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント

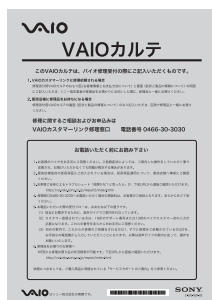
引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。
（集配および梱包料は、ソニー負担です。）

！ご注意

- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。）
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
  また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無料修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service（海外修理サービス）の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」（151ページ）をご覧ください。

1 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。
紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（153ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

VAIO
VAIOカルテ
このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。
修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030
お電話いただく前にお読み下さい
SONY

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

2 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

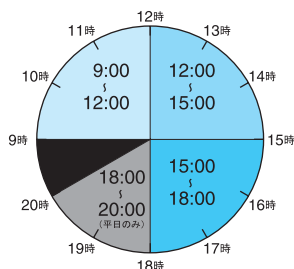
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
受付時間：平日：10：00～21：00
土曜、日曜、祝日：10：00～17：00
（365日年中無休）

ヒント
- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2007年2月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00～12：00
- 12：00～15：00
- 15：00～18：00
- 18：00～20：00（平日のみ）

！ご注意
上記は2007年2月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

ヒント
受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。
- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

！ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

！ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

「修理／お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンクホームページおよびVAIOカスタマーリンクモバイル(携帯電話用サポートサイト)では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

！ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

❑ VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「すべてのメニュー」から「修理関連のご案内」にある[修理／お預かり品状況確認]をクリックする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

2 ページ下の画面下の[このサービスを利用する]をクリックする。

ここをクリックする

3 画面に従って操作する。

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

1 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

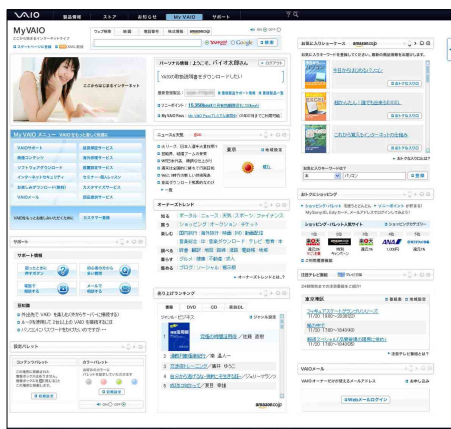
ヒント
バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

2 「サポート系コンテンツ」から[修理品状況確認]を選択し、ページ内の"確認のページはこちら"をクリックする。

3 画面に従って操作する。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

(2007年2月現在)

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます(一部サービスを除く)。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録(46ページ)をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム(有償)」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイトMy VAIOからご覧いただけます(一部サービスを除く)。
MyVAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

！ご注意
2007年2月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。
ベーシック
1年間のメーカー保証を3年間に延長します。
ワイド
ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

！ご注意
- ご購入にはカスタマー登録(46ページ)が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴
- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1 代替品提供の場合を除きます。
*2 代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service(海外修理サービス)

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意
- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】
VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。
インターネット設定パック
インターネットの接続・設定(有線・無線)、メール設定を行います。
VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】
上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。
データお引越しパック
お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。
パソコンリカバリーパック
トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。
OSアップグレード
新しいOSにアップグレード作業を行います。
ロケーションフリー設定パック
ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号：(0570)073-111(一般及び携帯電話)
電話番号：(03)5789-3474(PHS・IP電話)
受付時間　10：00〜18:00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」
ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。
「Norton AntiVirus online」
インターネットや電子メールから不正侵入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能(Webメール、データ保管など)も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品の販売について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

提供窓口
- ソニーサービスステーション(SS)で、部品をご注文いただく方法
(SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。)
- マイサポーター(137ページ)でWebより部品をご注文いただく方法(対象機種のみ)
(部品代+送料・代引き手数料1,155円(税込)がかかります。)

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

!ご注意
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。(対象機種に限ります。)
HDDアップグレードサービス
ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。動画を存分に楽しむためにも活用できます。
メモリアップグレードサービス
メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。
キーボード交換サービス
標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

!ご注意
一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（147ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

ヒント
本機に付属するソフトウェアは、お使いのモデルにより異なることがあります。
付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェアを確認する」(169ページ)をご覧になるか、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたリストをご覧ください。

ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザー アカウント]を順にクリックして表示される「ユーザー アカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

ビデオ編集・再生

❑ Windows Media(R) Player
VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO
(ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応)
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 日本語版
アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：
(0570)023623(ナビダイヤル)または(03)5304-2400
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

インターネット・メール

❑ Microsoft Internet Explorer(R)
VAIOカスタマーリンク

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007
マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：
東京(03)5354-4500／大阪(06)6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜：10時～17時
(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜、日曜：10時～17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜：10時～17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜、日曜：10時～17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜：10時～17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、
土曜、日曜：10時～17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

！ご注意

Office PowerPoint 2007をはじめて起動するときは、アクティベーションの画面が表示されます。

実用ツール

❏ Roxio DigitalMedia

ソニックサポートセンター
電話番号:(03)5232-6400
受付時間:10時〜12時、13時〜17時
(土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く)
電子メール:下記のURLのメールサポートフォームより
お問い合わせください。
ホームページ:http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❏ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader(無償配布ソフトウェア)に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ:
http://www.adobe.com/jp/support/

❏ Norton Internet Security(TM)

Sonyユーザ様向けサービスページです。サポート登録や更新キー購入に関してはこちらから!
ホームページ:
http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

FeliCa関連アプリケーション

❏ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

❏ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル
電話番号:(0570)081-999
(0570)085-001(ナビダイヤル)
受付時間:9時30分〜21時
ホームページ:http://www.edy.jp/

❏ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:
月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]→[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❏ スクリーンセーバーロック(FPあり用)

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:
月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]→[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❏ かんたん登録(FPあり用)

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:
月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]→[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[JSユーザー登録・確認(プリインストール製品用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～19時、土曜、日曜、祝日：10時～17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]→[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意の上、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

設定・ユーティリティ

❑ VAIO ハードディスク プロテクション

VAIOカスタマーリンク

❑ Smart Network

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、予めご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。）また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに重い物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

ハードディスクのバックアップについて

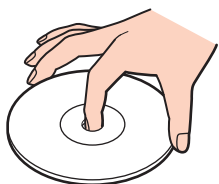
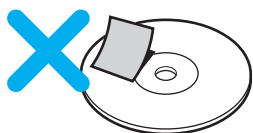
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

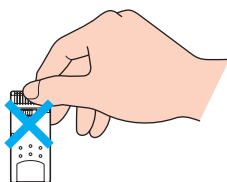
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

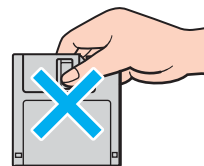
- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。

- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz(IEEE 802.11a)ワイヤレスLAN機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE 802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE 802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続すると、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- ExpressCard スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット(初期化)してからご使用ください。

お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。

フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。
- バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ドライブの地域番号書き替えについて(オプティカルドライブ搭載モデル)

お買い上げ時は、本機のドライブの地域番号(リージョンコード)は「2」(日本)に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画･録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画･録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

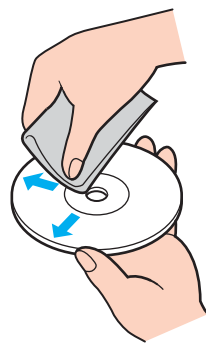
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンクホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

主な仕様

お客様が選択された商品により仕様が異なります。お客様が選択された仕様を記載した印刷物をご覧ください。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能
○：再生のみ可能、記録不可
×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
Video CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。
*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

CD-RW/DVD-ROMドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	○
DVD-R DL（Dual Layer）	○
DVD+R／RW	○
DVD-R／RW	○
DVD-RAM	×
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
Video CD	○

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW／DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／CD-R／CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW／DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）

書き込んだディスクを他のプレイヤーで読み込むときのご注意

- CD-R／CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやポインティング・デバイスを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

本機に付属されているソフトウェアを確認する

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：　ご使用の機種に付属されています。

□：　ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。

－：　ご使用の機種には付属されておりません。

	VGN-BX4AAPS･BX6AAPS
ビデオ編集･再生	
Windows Media(R) Player 10	○
WinDVD for VAIO（ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○
静止画･写真	
Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 5.0 日本語版	□／－*
インターネット･メール	
Microsoft Internet Explorer 6 (R)	○
ワープロ･表計算	
Microsoft(R) Office Personal 2007	○／－*
Microsoft(R) Office Professional 2007	○／－*
Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007	○／－*
実用ツール	
Roxio DigitalMedia SE 7	○
Adobe(R) Reader(R) 8.0	○
Norton Internet Security(TM) 2007	○
FeliCa（フェリカ）	
かざそう FeliCa	○
Edy Viewer V2.0	○
SFCard Viewer	○
スクリーンセーバーロック2（FPあり用）	○
かんたん登録2（FPあり用）	○
FeliCaブラウザエクステンション	○
かざポン for VAIO	○
設定･ユーティリティ	
VAIO ハードディスク プロテクション	○
Smart Network Ver.2.2	○
バイオの設定 Ver.1.1	○
サポート･ヘルプ	
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2	○
VAIO リカバリユーティリティ	○
その他	
VAIOオンラインカスタマー登録	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

索引

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、“Memory Stick Duo”（“メモリースティック デュオ”）、
  MEMORY STICK、 、MEMORY STICK、
  MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、
  MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、 MAGICGATE、OpenMG、OpenMG
  はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が運営するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、Windowsおよび Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard（TM）ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- AI囲碁、AI将棋、AI麻雀は、株式会社アイフォーの登録商標です。
- 「脳力トレーナー」はセガトイズの登録商標です。
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では（TM）、（R）マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況に合った解決方法を提供しています。

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能と
バイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、
総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

受付時間
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

© 2007 Sony Corporation / Printed in Japan

3-218-002-**02** (1)